

031552-000-7

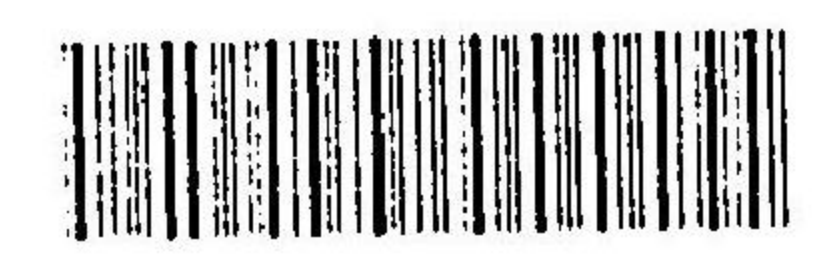
14-249口

国法学

穂積 八束/述

M22?

BBE-0156



國法學目次

|        |           |           |        |           |          |        |        |        |           |           |
|--------|-----------|-----------|--------|-----------|----------|--------|--------|--------|-----------|-----------|
| 第一編 總論 | 第一章 國法の淵源 | 第二章 法律及敕令 | 第二編 本論 | 第一章 君主の大權 | 第二章 皇位繼承 | 第三章 攝政 | 第四章 國境 | 第五章 臣民 | 第六章 國民の階級 | 第三編 統御の機關 |
| 六      | 一         | 六         | 一      | 三         | 九        | 一八     | 三三     | 四六     | 六一        | 七一        |

目次



|                |    |
|----------------|----|
| 第七章 議會         | 三三 |
| 第八章 撰舉ノ手續      | 四〇 |
| 第九章 國會ノ職權      | 四二 |
| 第十章 國會議員ノ地位    | 四七 |
| 第四編 三行政府       | 一八 |
| 第十一章 皇官府       | 四九 |
| 第十二章 行政裁判      | 六〇 |
| 第十三章 行政ノ監督     | 六五 |
| 第十四章 行政訴訟      | 六八 |
| 第十五章 國權ニ個人ノ關係  | 七三 |
| 第十六章 邦國ト邦國トノ關係 | 七八 |
| 國法學目次終         |    |

國法學

文學士 穗積 八束 講義  
校 友 永瀧 久吉 編輯



總論  
國法ノ淵源

第一編 總論

第一章 國法ノ淵源

凡ソ國法ノ材料トナルモノハ總ヘテ民法及其他ノ法律ト出所チ同フナルモノニシテ特ニ國法ノタメニ法律ヲ設ケタルモノニアラサルナリ只同一ノ法律ヲ研究シテ些細ニ其學理ヲ觀察シ來ルトキハ國法ノ原理及民法ノ規定共ニ同一ノ根源ヨリ生スルナリ故ニ國法ハ法律ノ淵源ニ等シク主權者ノ明文ヲ以テ發布シタル所ノ法律ハ其第一類ノ材料ナリ又明文存セスト雖モ古來ヨリ主權者及臣民ノ之ヲ認メテ規則トストコロノ慣習ハ其第二類ノ材料ナリ然レトモ慣習法ト云フトキハ道德ノ區域内ニ屬スル規定ヲ指スニアラスシテ別ニ主權者ノ之レニ倚據シテ事ヲ處分スル明カナル意志ノ存セサルヘカラス而シテ其意思ヲ證明スル



## 憲法

ニハ明文ニヨラサルモ政令ヲ參照シテ之レヲ決シ得ルモノ之ヲ稱シテ習慣法ト云フ

### 第一材料 憲法

國法ノ材料中ニ於テ尤モ重要ナル地位ヲ占ムルモノハ憲法ナリ而シテ之ヲ國法材料中ノ一ナリト云フトキハ主權ノ作用ヲ規定スル一般ノ法規ヲ指スニアラスシテ明文ヲ以テ布告セラレタル如ク一法典ヲ指スモノナリ夫レ然リ之ヲ憲法ト名ツクル所以ノモノハ尋常法律ノ上ニ立テ其法律ヨリ一層強大ナル効力ヲ有スルノ一點ニアリ即チ我國ノ現行法ニ依レハ曩キニ發布セラレタル憲法是ナリ歐洲大陸ノ諸國ニ於テモ多シハ成文ノ憲法ヲ有セルモ英國ニテハ吾人カ憲法ナリト稱道スルコロノ特別ナル法典ヲ有セス只憲法ニ屬スヘキ事項ヲ規定シタル明文ノ法律ヲ存スルノミ然レトモ是等ノ明文法ハ尋常法律ノ上ニ立テ立法ノ機關ヲ束縛スルノ力ヲ有セス英國ノ國會即チ立法ノ機關ハ尋常ノ手續ヲ以テ憲法ヲ變更シ得ルモノナリ之ニ反シテ日本及成文憲法ノ諸國ニ於テハ立法ノ機關ハ憲法ノ變更ニ束縛セラレ立法ノ手續ヲ以テ之ヲ變更スルコトヲ得ス故ニ憲法ト云

フトキハ專ハラ成文憲法ヲ指シタル詞ニシテ此第一類ノ材料ハ成文憲法ノ國ニ存シテ英國ノ如トキ不文憲法ノ國ニハ存セサルナリ  
憲法ノ含有スル所ノ事項ハ必ラスシモ國家ノ原則ト名ツクヘキ一般ノ規定ノミニアラス總テ民法ニ屬スル事項若クハ行政官ノ事務執行ノ手續ニ過キサル事項ト雖トモ又往々之ニ記載セリ故ニ其含有スルトコロノ材料ヲ以テ推スモ容易ニ憲法ノ何タルヲ解スヘカラス

## 習慣法

### 第二材料 習慣法

習慣法ハ專ハラ其國ノ歷史的實際ニ就テ檢究シ得ルモノニシテ豫メ普通ノ法理ヲ執テ之ヲ決スルコトヲ得スユヘニ此種ノ材料ニ基ツキテ國法ノ原則ヲ説明スルハ甚タ難シ

## 國際ノ條約

### 第三材料 國際ノ條約

條約ヲ以テ國法ノ材料中ノ一ト爲スモノアリ此說ノ因テ來タル所ヲ察スルニ單ニ聯邦國ノ憲法ヨリ生スル觀察ニシテ北米合衆國ノ如トキ又ハ獨逸ノ如キ聯邦ノ組織ニ規トル政体ニ於テハ國ト國トノ關係ヨリ見レハ條約ト云フモ中央政府



行政命令  
及自主權  
ニ基ク法  
律ノ規定

ト地方政府トノ關係ヨリ察スルトキハ一ノ法令タルカ如シ例ハ獨逸中ノ小國  
カ其帝國ニ向テ條約ヲ結ヒテ軍事ノ事柄ニツキ帝國ノ支配ニ任スト爲ストキハ  
國內法ヨリ見レハ平和ノ權ハ帝國ニ在テ其小國ニ存セスト云フノ規則ヲ生スヘ  
シ何トナレハ帝國ト各小國トハ平等ノ交際ヲナスニアラスシテ上下ノ區別アレ  
ハナリ然レトモ此論理ヲ以テ各獨立國ノ例ニ徵スルコトヲ得ス蓋條約ナルモノ  
ハ平等ノ二國カ國際法ノ規定ニ基キテ結約スルヲ云フモノニシテ各個人ヨリ見  
ルトキハ未タ法律ニモアラス又敕令ニモ非ラサルナリ故ニ條約ヲ引用シ來リテ  
國法ヲ論スルコトヲ許サス但一般ノ政令トシテ條約ヲ結ヒタルトキハ其條約ヲ  
執行スルニ必用ナル法律又ハ敕令ヲ國內ニ發スルヲ以テ條約ハ間接ニ國法ノ材  
料トナルヘキモ直接ニ影響ヲ國法ニ及スモノハ獨リ法律及ヒ敕令ノミ  
第四材料 行政命令及ヒ自主權ニ基ツク法律ノ規定  
第二主權者カ行政官ニ向ツテ事務取扱上ノ規定ヲ與ズルハ直接ニ臣民各個人ニ  
向ツテ權利義務ヲ規定シタルモノニアラスト雖トモ主權者カ國內ニ向ツテ發シ  
タル所ノ命令ハ直接ト間接トヲ問ハス其國ノ臣民ハ之ニ服従スヘキノ義務ヲ生

皇室ノ家  
法

ス、第二各自自治体ヨリ自治權即チ自カラ命令ヲ發シテ其自治區域内ニ生息スルモ  
ノニ向テ之ヲ遵奉セシムルモノ、如キハ直接ニ主權者ノ命令ニ依ラサルモ主權  
ノ委任ニ出テタルモノナルヲ以テ是又國法ノ材料ナリ

第五材料 皇室ノ家法

皇室典範トハ本邦ノ法ニ依ルトキハ法律ニモアラス又敕令ニモアラス一種異様  
ノ規定ナリ獨逸ノ國法ニ據ルトキハ尙ホ之ヲ以テ法律又ハ敕令トナシ英國ニ於  
テハ之ヲ以テ習慣法ヨリ成立セル國法ノ一部分トナセリ蓋皇室典範ナルモノヲ  
法律又ハ敕令ト稱スト雖モ主權者ノ命令シテ之ヲ遵守セシムル以上ハ國法ヲ組  
成スル一原素ヲナスモノト云フヘシ帝國憲法ノ法理ニ依レハ皇室典範ノ規定ハ  
憲法若クハ法律ト相抵觸スルコトヲ得スト雖モ法律ヲ以テ皇室典範ノ規定ヲ變  
更スルコトヲ許サス夫レ如斯論スルトキハ二者ノ間ニ法力ノ差アルニアラスシ  
テ之ヲ規定スル範圍ノ廣狹ニ差アルノミ是故ニ法律規定ノ及ハサル所ニシテ皇  
室家法規定アルトキハ之ヲ以テ國法ノ理ヲ判斷セサルヘカラス只夫レ一家ノ規  
定ナリトシテ之ヲ國法ノ範圍外ニ置クコトヲ得ス



第二章 法律及勅令

國法ノ材料中ニテ重ナル部分ヲ占ムルモノハ何レノ國ヲ問ハス法律及ヒ勅令ナリ夫レ法律トハ之ヲ體質上ヨリ論スルトキハ諸般ノ法令規則ヲ含有スルモノナリ又之ヲ形式上即チ法力ノ點ヨリ見ルトキハ僅カニ命令ノ一部分ヲ有スルモノナリ而シテ立憲政体ノ國ニ於テハ國王ト議會トノ一致ヲ待テ布告セラレタル命令ヲ言ヘトモ專制政治國ニ於テハ法律ト勅令トハ專ラ其含有スル所ノ材料ヨリ區別セルヲ以テ更ニ法力ノ差ヲ生セサルナリ之ヲ要スルニ立憲制度ノ精神ハ即チ法律ナル一種ノ命令ニ特別ノ法力ヲ與フルニアリ我國ノ制法ニ依レハ議會ノ協賛ヲ經テ法律規則ノ性質ヲ具フルモノヲ法律ト云フコトヲ得ス然ルニ歐州諸國ニ於テハ何等ノ事項タルヲ問ハス國王ト國會トノ一致ヲ得テ發シタル命令ヲ法律ト云ヘリ本邦ノ憲法ニ依ルニ豫算表ハ行政處分ニ屬スル事項ナルヲ以テ法律ト云ヘリ何トナレハ豫算表ニモ亦法律ト同一ノ法力ヲ與ヘンコトヲ冀望スレハナリ

勅令ト雖モ其材料ニ至リテハ毫モ法律ト異ナルコトナシ法律ヲ以テ布告セラレ

タル事モ勅令ヲ以テ布告セラレタルコトモ共ニ臣民ニ向ツテハ同一ノ効力ヲ有スルナリ今立法ノ機關ノ作用ヨリ見ルトキハ二者ノ間ニ効力ノ差ヲ生スヘシ抑モ外形上ヨリ之カ定義ヲ下ストキハ國會ノ協賛ヲ經スシテ發セラル、所ノ君主ノ命令ヲ勅令ト云フ而シテ勅令ハ法律ヲ變更スルコトヲ得スシテ法律ノ範圍内ニ於テ其効力ヲ全フスルモノナルカ故ニ法律トハ自カラ區別ノ存スル所アルヲ知ルヘキナリ但勅令ノ中ニハ三種ノ區別スヘキモノアリ

第一種、獨立勅令　ハ偏ニ成文憲法ヲ以テ君主ト國會トノ權限ヲ定メタル諸國ニ存スルナリ固ヨリ國ニ依リテ多少其趣ヲ異ニセルモ白耳義又ハ佛蘭西ノ憲法ノ如キハ君主又ハ大統領ト雖モ憲法ノ明文ニ規定セラレタル權力ノ外ハ他ニ毫モ權力ヲ有セサルナリ故ニ君主ヨリ發スル所ノ勅令ハ法律ノ範圍内ニ於テ唯法律ヲ執行スルニ止マルノミ故ニ直接ト間接トヲ問ハス法律ノ中ニ含有セサル所ノ事柄ヲ君主カ獨立ノ命令ヲ發シテ規定スルコトヲ得ス換言スレハ君主ハ法律ノ執行權ヲ有スルノミニシテ法律ノ欠點ヲ補フノ權ヲ有セス御國ノ憲法ニ於テハ君主ノ大權ナル思想ハ之ト異ナル所アリ今其相異ナル所ヲ考フルニ君主ノ特權



ハ法律ヲ以テ規定スルコトヲ得ス又敕令ヲ以テ法律ヲ變更スルコトヲ得スト雖  
トモ明カニ法律ニ牴觸セサル以上ハ法律ノ及ハサル所ニ向ツテ自由ニ獨立ノ敕  
令ヲ發スヘシ之レヲ稱シテ天皇ノ大權ト云フ其大權トハ兵馬ノ權或ハ外國ト條  
約スル權等ノ如キ其他各種ノ規定アリ是等ノ場合ニ發スルモノハ所謂獨立敕令  
ニシテ法律執行ノ敕令ニアラサルカ故ニ毫モ法律ニ從フニ及ハス法律ト相依テ  
法律ニ規定スルコトヲ得サルナリ故ニ獨立敕令ノ存スルハ我憲法ノ特質ナリ  
第二種法律執行ノ敕令 法律執行ト云フトキハ必スシモ法律ノ明文ヲ注釋シテ  
之ヲ適用スルノミニ限ラズ法律ノ原則ニ基ツキテ法律ヲ變更セサル限ハ此敕令  
ヲ發スルコトヲ得歐洲大陸諸國ノ憲法ニ通常敕令ト名ツクルモノハ此種ノモノ  
ヲ云フ此敕令ハ其法力タル法律ノ下ニアリテ法律ノタメニ動かサル、モノニシ  
テ敕令自カラ獨立占有ノ位置ヲ有スルコトヲ得ス之レニ反シテ獨立敕令ニ至リ  
テハ法律ノ之レニ抵觸スルコトヲ得サルノミナラス若シ之ニ抵觸スヘキ法律ヲ  
造ルトキハ其法律ハ爲メニ法力ヲ失フニ至ルヘシ是則チ獨立敕令ト執行敕令ト  
相異ナル所ナリ

第三種補欠勅令 補欠勅令ハ法律ノ範圍内ニ於キテ行政ノ目的ヲ達セムカ爲ニ  
發スルモノニシテ法律ト抵觸セサル限りハ之ヲ發行スルコトヲ得セシムルモノ  
ナリ但シ法律ヲ變更スルコトヲ得スシテ而シテ法律ハ之ヲ變更スルコトヲ得ルノ  
點ヨリ觀察スルトキハ獨立勅令ト効力ヲ異ニシ法律執行勅令ト同シキニ似タリ然  
ルニ法律執行勅令ハ一定ノ法文ニ基因シテ之ヲ執行スルヲ目的トスレトモ補欠勅  
令ハ法文ノ明示セサル場合ニ於テ之ヲ發スルモノニシテ是レ二者相似テ異ナル  
トコロナリ帝國憲法第九條ニ明言セルトコロノ勅令權ハ即チ執行及補欠二様ノ  
勅令權ヲ認ムルモ外國ノ憲法或ハ行政權ヲ行法ノ作用ニ止メ法律明文ヲ執行ス  
ルノ外獨立及補欠ノ勅令ヲ發スルコトヲ認メサルモノアリ雖トモ之ヲ實際ニ  
照ストキハ法律ヲ發スルニ於テ必ス補欠命令ヲ行政權ニ委託スルコト多シトス

第二回

前回ニ於テ總論ヲ講了セルヲ以テ本回ヨリ本論ニ入り講述セム

第二編 本論

第一章 君主ノ大權

本論  
君主ノ大權



君主ノ地位ニ國法學上二様ノ見解アリ即チ國家カ無形人ニシテ其無形人ヲ代表スル地位ト主權即チ君主權ニシテ主權ト同一體ヲナスノ地位ト是レナリ帝國憲法ノ法理ニヨルトキハ主權即チ君主權ニシテ第二ノ見解ヲ採ルモノナリ歐洲立憲政體中白耳義希臘又ハ佛國王政時代ノ憲法ノ如キハ君主ハ無形人ヲ代表スル所ノ國家機關ニシテ主權ハ君主權以外ニアリトシテ第一ノ見解ヲ採ルモノナリ然リ而シテ茲ニ專ラ論スル所ノモノハ純然タル君主國即チ日本及李國國法ノ法理ニシテ其他ノモノニ至リテハ之ヲ論セサルモノトス純然タル君主國ニ於テハ君權ヲ統治ノ大權ト君主ノ憲法上ノ大權トノ二個ニ區別ヲナスモノナリ統治ノ大權トハ全ク分離スヘカラサル且ツ豫メ列記スルヲ得ヘカラサル至高ノ命令權ニシテ事實上制限サレタル以外ニ於テハ法律上之ヲ制限スルコト能ハサルモノミナラス抑モ亦タ法律ヲ以テ之ヲ得タルモノトシテアラスナルナリ君主憲法上ノ大權トハ憲法ト名ケラレタル一種ノ法典ニ列記セザル君主ノ特權ヲ云ヒ政治上ノ語ヲ以テ之ヲ君主權ト云フモ法律上ヨリ之カ見解ヲ下ストキハ君

主ノ大權ヲ確認スルモノニアラスシテ帝國議會又ハ政府ニ委任セス君主直接ニ施行スル所ノ命令權ヲ指示スルモノナリト云フヲ得ヘシ而シテ此權力ハ法律上ニ列記セル場合即チ法律ノ範圍内ニ於テ行ハルモノナリ帝國憲法第一章ニ掲クル君主ノ命令權ノ如キ李國白國憲法ニ記スル君主權ノ如キ皆ナリ此類ナリトス君主ノ法律ニ對スル地位ハ純然タル君主國ニ於テハ其法理甚タ明瞭ニシテ君主ハ法律ヲ制定スルノ源ナリ法律ハ臣民ニ對シテ之ヲ發布シ得ヘシ法律ノ効力ハ臣民ニ對シテノミ之ヲ有スルモノニシテ制定者タル君主ニ溯テ其効力ヲ及ボスモノニアラスナルナリ然レトモ歐洲ノ所謂立憲主義ノ國ニ於テハ君主ハ主權者ニアラス主權者ニアラスナルヲ以テ法律ニ服從セサルヘカラス語ヲ換ヘテ之ヲ言ハハ君主ハ法律ノ下ニ立チ法律ノ支配ヲ享ケサルヘカラサルハ法理ナリト云フニアリ然レトモ君主ニシテ全ク法律ノ下ニ立ツニ於テハ君主ノ威嚴ヲ保維スヘカラサルヲ以テ或ル場合ニ限り法律ニ服從スルヲ要セサルノ特例ヲ設クルコトアリ是レ歐洲憲法ニ於テ往々君主ハ無責任ナリトノ明文ヲ記載スルモノアルヲ見ル所以ニシテ若シ法律上明文ナキニ於テハ君主ハ凡テ法律ヲ遵守セサルヘカラ



大決シテ無責任ナルモノニアラサルナリ  
純然タル君主國ニ於テハ其主義反對ニ出テ法律上明文ヲ以テ君主自ラ法律ニ服  
從スト明言シタル場合ハ法律ヲ適用スルヲ得ヘシト雖トモ之ヲ明言セサルニ於  
テハ法律ヲ適用スルコトヲ得ルモノニアラス君主ノ財産上ニ於テ之ヲ例セシ  
君主主權者ナルトキハ君主ノ財産ハ民法ノ規定ノ下ニ立テ之レカ支配ヲ受クルコ  
トヲナサハルナリト雖モ若シ之カ支配ヲ受クルヲ肯シスルトキハ特ニ明文ナカ  
ルヘカラス以是英國ノ如キ法律ノ勢力甚ダ勢ニシテ君主モ之ニ服従スルカ如キ外形  
ノ完美ナル國ニ於テモ君主ノ財産ニ對スル訴訟ハ請願ノ訴訟ニヨリ普通ノ例ニ  
ヨラス若シ君主ニシテ民法ノ規定ニヨリ一己人ト平等ナル權利義務ノ關係ヲ認  
ムルトキハ是レ君主ノ惠與ニ出スルモノナリ然リト雖トモ君主主權者ニアラサ  
ル國體ニ於テハ君主ノ財産ハ一己人ノ財産ト同一ニシテ法律上特別ノ規定アラ  
サル限リハ裁判所ハ一私人ト同一ノ處置ヲナスモノトス  
國法上名クテ君主ノ榮譽權ト稱シ刑法警察法ヲ以テ特別ノ保護ヲ與フル所以  
モノハ刑法警察法アルカ故ニ君主ニ此權ヲ得タルモノニアラスシテ君主ハ臣民

ニアラストノ原則ヨリシテ特別ノ保護ヲ享有スルモノナリ之ヲ君主ノ權ト稱ス  
ルハ政治上便宜ナル語ナルヘシト雖トモ法律上之ヲ權利ト云フニ至リテ抑モ非  
ナリ何トナレハ權利ハ法律アリテ始テ起生スルモノニシテ法律ナクハ未ダ權  
利ナルモノアラサルヲ以テナリ

### 皇位繼承

## 第二章 皇位繼承

皇位繼承ニツキテハ君主國ト法人國トノ區別ヲ明ニ記臆セサルヘカラス法人ノ  
國體ニアリテハ皇位ノ繼承ハ主權ノ作用ヲ委託スル手續ヲ定メ君主ノ國體ニア  
リテハ皇位ト君主トハ同一體ヲナシ皇位ノ繼承トハ君主自ラ自己ノ權力ヲ以テ  
主權ノ體ト用トシ掌握スルモノヲ云フ  
皇位ト君主ヲ區別シテ之ヲ説明スルハ技術上ノ必要ニ出テ別ニ皇位ト云フ無形  
ナルモノアリテ之ヲ一人ヨリ他人ニ讓渡スコトニアラス若シ然リトセハ官吏其  
職ニ任用セラルト同一體ニシテ委託ノ法理ニ則ラサルヲ得ス然レトモ主權者  
ハ主權以外ニ委託者アルヲ認ムルモノニアラサルヲ以テ自己獨立ノ權利トシ法  
律ノ明文ヲ俟テ生スルモノトセサルナリ



皇位ヲ繼承スルニ必要ナル元素ハ四個アリトス今左ニ之ヲ掲ケテ説明スヘシ

第一、君主國ニ於テハ最先君主ノ血統者タルコト

我邦ノ憲法及外國憲法上普通ニ認ムル所ニシテ特ニ我邦ニ於テハ他ノ血統ト契約ナシ皇位繼承ヲ定ムルヲ許サスト雖モ歐洲ニ於テハ古昔ハ相續契約ト稱セシモノアリシナリ例之ハ一國王他國ノ王ニ對シテ我血統斷絶スル場合ニ際會セハ汝ノ血統者我國王ノ位ニ即クヘシト契約スルコトアルヲ以テ血統斷絶ノ是ニハ君主ノ嫡子ヲ爭フモノ多ク恰モ一己人カ財產相續ヲ爭フカ如ク國家擾乱ノ基トナリシカ現今ニ於テハ如斯條約ハ凡テ無効ナリト認ムルニ至レリ君主ハ其血統ノモノナシテ位ヲ繼カシムルコトヲ得ルモ養子ノ法ニ則トリテ其位ヲ讓ルヲ禁ス我國法及獨逸諸國ノ法之レナリ茲ニ血統ト云フハ天然自然ノ血統ヲ意味スルモノト知ルヘキナリ

第二、皇位ヲ享クルモノハ男子ノ血統タルコト

日本學國及佛國ニ行ハル法ハ男子ノ血統ニヨルニ至リナリ爾餘ノ國ニ於テハ或ハ女子ヲシテ即位セシムルコトアルモ其女子タルヤ凡テ男系ノ緣故ニヨリ其位ニ

即クモノナレハ男系主義ヲ以テ本則トナスモ敢テ不可ナルコトナシ  
歐洲ノ歴史ヲ觀ルトキハ古昔ハ國法ト民法トヲ混同シテ國家君主ノ位ニ即クモノハ土地ヲ領スルモノナリトハ想像ヲ抱懷スルヲ以テ皇位繼承法モ不動産相續權ト相伴隨シテ發達進歩セルモノナリ而シテ同一人種ノ國法ニ於テ自由ノ民トハ現今ノ公民ノ如ク充分ナル公權ヲ有スルモノヲ指稱スルモノニシテ公民タル資格ノ標目ハ武器ヲ携フルコトニ堪ユルト土地ノ所有者タルヲ得ルノ二トス此等ノ理由ニヨリ全然男子ノ君主ノ位ニ即クノ元則ト生セシモノナリ

第三、正當ナル婚姻ニヨリ生シタル子孫タルコト

正當ナル婚姻トハ民法上正當ナルニ止マラス皇室家法ニヨリ正當ナル婚姻ト云フノ意ニシテ民法上假令ヒ正當ナルモ憲法上之ヲ正當ト認メス從テ其子孫ハ皇族タル權利ヲ得サルノ實例ハ各國其例少ナカラサルナリ歐洲ノ皇位繼承法ハ婚姻ノ正當タルコトヲ證スルニ婚姻者雙方ノ同等ナル種類ニ属スルコトヲ以テ必要トス一國ノ君主ハ其國臣民ト婚姻セルトキハ民法上正當ナルモノナレトモ皇室家法上之ヲ正當ノモノト認メスシテ必ス他國ノ現在君臨スル君主ノ血統タル



カ又ハ一タヒ君臨セル君主ノ血統タルモノヨリ婚姻スルヲ以テ正當婚姻ト見做  
スナリ帝國憲法ノ規定ハ之ト異ナリ皇室典範ニ定ムル所ニ於テシ婚姻ノ同等ナ  
ルコトニツキ定義ヲ下サ、ルナリ

第四、皇位ヲ繼承スルモノハ統治ノ能力ヲ有スルコト

統治ノ能力ヲ以テ繼承ノ一要件トセルハ法人國ニ於テノミ適用スヘキ元則ナリ  
君主國ニ於テハ位ニ即クヘキ人ノ政務ニ堪ユルト否トハ問フ所ニアラスシテ若  
シ未成年者ニシテ親政スルヲ得サル場合若クハ他ノ支障ニヨリ統治ノ權ヲ左右  
スルコト能ハサルトキハ攝政ナルモノヲ設ク是レ歐洲及日本共ニ通スル所ノ元  
則ナリ歐洲諸國ノ憲法ニ於テハ皇位ノ繼承者ニ對シテ一定ノ宗旨ヲ信スルコト  
ヲ以テ一條件トナシタリ例之ハ英國及獨逸諸邦殊ニウルデンボルグノ法ニテハ  
耶蘇教ノ新教ヲ信スルモノニ限り皇位ヲ繼承セシメ佛國ハ古昔舊教ヲ信シタル  
モノニ限りタリ歐洲ニ於テモ現今ハ其制限ヲナスコト大ニ寬大ニ赴キタリト雖  
トモ彼レニアリテハ皇位ノ繼承ト宗旨ノ信向トハ全ク關係セストノ元則ハ未タ  
完ク行ハレサル所ナリサレトモ帝國憲法ノ規定ニハ宗旨ノコトヲ以テ要件トセ

ス歐洲ノ國法ハ多ク無宗旨ヲ許サ、ルカ故ニ無宗旨ナルモノ、皇位ニ即クコト  
ハ憲法ノ認メサル所ナリ例之ハ獨逸諸邦君主政體ノ憲法ニハ君主即位ノ時一定  
ノ宣誓式ヲ行ハシムルヲ法トシ其誓詞中ニ余ハ何宗ヲ信スルモノナリト明言セ  
シムルモノナリ

皇位ヲ繼承スル順序ニ於テハ三個ノ區別アリ左ニ之ヲ説明スヘシ

- 一、現在生存スルモノ、中ニテ年長ナルモノヲ位ニ即カシム
- 二、君主直系ノ血統ニシテ年長男子ヲ以テ位ニ即カシム
- 三、君主ノ最近血統者ヲ以テ皇位ヲ繼承セシム

現今ノ法ニ於テハ此三種ノ主義ヲ混同シテ用ユルモノナリト雖モ君主ノ直系男  
子ヲ以テ繼承者トスルハ一般ノ元則ニシテ直系男子中生存スルモノナキトキハ  
第三ノ主義ニヨリ最近血統者ヲ以テ之ニ充テ等親二人以上ノ男子アルトキハ第一  
ノ原則ニヨリ最高年齢ノモノヲ撰ンテ之ニ充ツ若シ君主崩御ノ際胎中ニ一子ヲ  
遺ストキハ如何ナル法ニヨリテ定ムヘキヤハ疑義ノ存スル所ニシテ國法上未タ  
顯著ナル義解ヲ下スモノアルヲ見ス今民法ニヨリ之ヲ論スルトキハ未タ出生セ



サル子孫ナルモ相續權アリトスルヲ得ヘシト雖モ歐洲諸國ノ憲法中民法ヲ適用シテ之ヲ決定スルノ明文アルナシ例之ハ學國王ノ崩御セントキ此事アリトセハ如何ニ決定スヘキヤ彼ノ國ノ憲法及皇室家法ニハ何等ノ明文ナキヲ以テ之ニ依リ決スルヲ得ス若シ遺子ニシテ男子ナラソカ皇位ヲ繼承セシムルヲ得ヘシ女子ナラソカ皇位ヲ繼承セシムルヲ得サルナリ彼國憲法註釋家ハ此場合ニ於テ豫メ正當ニ即位シ得ヘキ男子ヲ攝政ト定メ而シテ若シ生子ニシテ男子ナルトキハ其儘ニ攝政ヲ繼續セシメ女子ナルトキハ前ニ遯テ直ニ君主ノ位ヲ繼承シタルモノト解釋スヘシト論セリ此論ヤ能ク獨逸憲法々理ヲ説明シタルモノナリト雖モ帝國憲法々理ヲ説明シタルモノニアラサルナリ

### 第三回

### 第三章 攝政

國体ヲ分テ君主ヲ以テ主權者ト見做ス場合ト無形人ヲ以テ主權者ト見做ス場合トノ二種トス而シテ君主ヲ以テ主權者ト見做ス國体ニアリテハ主權ノ体ト用トハ同一ノ人ニ屬シテ分離スヘカラサルモノナレハ攝政ヲ置クノ必要モ亦タ此國

体ニ存ス即チ皇位ハ甲ノ人ニアリテ公權ヲ作用スルモノハ乙ノ人ニアルモ甲乙二者間ニ委託及代表ノ關係ナクシテ二個相合シテ一ノ法人ヲナシ主權ノ体ト用トナ完カラシム之ヲ攝政ト云フ然レトモ無形人ヲ以テ主權者ト見做ス國体ニアリテハ君主或ハ大統領ハ無形人ナル主權者ノ委任ヲ受ケテ主權ヲ行フモノナルカ故ニ攝政ヲ置クトキハ普通ノ代理ト同一ナル關係ヲ生シ攝政ハ本人ニ對シテ代理人タルノ責任ヲ負フモノナリ君主國ニ於テハ攝政ハ君主ト法理上同一体ヲナスカ故ニ君主ニ對シテ責任ヲ負フヘキモノニアラス於是乎國法學上攝政ハ無責任ナリトノ原則ヲ生スルニ至レル所以ナリ

攝政ヲ置クノ必要ナル場合ハ君主カ統治ノ能力ヲ有セサルトキニ限レルモノニシテ若シ君主政務ヲ總攬スルニ堪ユヘキ能力ヲ有セサルモ他人ニ命令シテ代理セシムルヲ得ル場合ニ於テハ攝政ヲ置クノ必要ナシ攝政ハ君主全ク自己ノ意志ヲ發表シテ他人ニ命令スルコトヲ得サルトキニ憲法上ノ効果ニヨリ直ニ其職ニ就クモノヲ云フ我帝國憲法及歐洲大陸ノ憲法ニ明言シテ攝政ヲ必要トスル場合ヲ定メテ左ノ二トセリ



一、天皇未成年ノトキ  
 二、天皇久シキニ渉ル故障アルトキ  
 君主未タ成年ニ達セサル場合ニ於テハ憲法上君主ハ統治權ノ作用ヲナサスト規定シタルカ故ニ君主ニ代ハリテ其作用ヲ司ラシムル爲メニ攝政ヲ置クモノニシテ君主自ラ命令シテ攝政ヲ任スルモノニアラサルナリ何ントナレハ未成年君主ハ代人ヲ命スル能力ヲモ憲法上之ヲ認メサルカ故ニ未成年君主即位セルトキハ其即位ト同時ニ攝政モ亦タ其職ニ就クモノナリ  
 久シキニ渉ル故障トハ字句ノ如ク時日ノ長短ヲ指稱スルモノナリト解釋スルトキハ大ニ法理ノ誤解ヲ生スルモノニシテ君主ノ能力ヲ奪フ故障ハ其最モ必要ナル條件ナリト雖トモ時日ノ長短ハ必スシモ之レヲ問フヘキモノニアラサルナリ例之ハ君主一ヶ月若クハ二ヶ月ノ短時日ト雖トモ其間精神上又ハ肉體上ニ故障アリテ全ク政務ヲ執ルコト能ハサルトキハ攝政ヲ置クニ必要トスル猶ホ君主ハ滿十八年ヲ以テ成年ニ達スルモノトスルカ故ニ成年前數年ニ即位シタルトキハ攝政ヲ必要トスルト同一般ノ理由ナリトス然レ而シテ茲ニ故障ト云フモノハ絶

手前  
 中十

對的ニ能力ヲ奪フノ意ナレハ君主自ラ命令ヲ發スルヲ得ル場合ハ縱トヒ疾病ニ罹リ若クハ海外ニ旅行セル場合ニテモ攝政ヲ置カスニテ代理人ヲ置キ君主外國ト戰爭ノ際敵國ノ中ニアリテ命令ヲ傳達スルコト能ハサル場合ニハ本國ニ於テ直ニ攝政ヲ置クノ例ハ往々見ル所ナリ  
 攝政ハ君主ノ名ヲ以テ大權ヲ作用スルモノニシテ君主ト同シク法律ニ對シテ服從者ノ位置ヲ占ムルニアラス命令者タルノ權力ヲ有スルモノナリ故ニ法律上ニ於テ君主ト同一ナル特例ヲ必要トス即チ刑法上特別ノ保護ヲ主權者ニ與フルモノ、如キハ攝政ニモ亦タ之ヲ與フルモノトスレトモ君主ノ榮譽權ノ如キハ主權ノ本體ニ屬シ主權ノ作用ニ屬セサルモノナレハ獨リ無能力者タル君主ニ存シテ攝政ニハ存セサルモノナリ  
 歐洲大陸諸國ノ憲法ニヨレハ攝政ヲ置クノ必要ヲ確カムルタメ國會ヲ開キテ其決議ヲ俟ツモノアリ白耳義憲法ノ如キ是レナリ帝國憲法ニ於テハ凡テ皇室ノ家法ニ定メタルモノニヨリ特ニ國會ノ決議ヲ經ルニ要件トナサス帝國憲法ニハ君主ニ故障アルトキハ內閣即チ大臣ノ集合體ハ假リニ攝政ノ職ヲ行ヒ猶ホ國會ノ決議



チ俟テ其人ヲ定ムルノ規定アリ是亦純粹ナル君主國體ニ適セサル原則ニシテ帝國憲法ニ於テハ内閣大臣攝政ノ職ヲ執ルヲ認メス  
 攝政トナリ得ルモノハ如何ナル人ナルヤト云フニ皇位繼承法ニ於テ現在ノ君主崩御サレタルトキニ於テハ其後ヲ襲フヘキ順序ニ相當セル人ヲ以テ攝政トス但シ皇子未タ成年ニ達セサルトキハ成年ニ達セルモノヲ以テ之ニ代ユルト明定セラレタリ何ントナレハ皇位ノ繼承ト攝政ノ位ニ即シトハ其順序ノ原則ヲ同クシ其要件ヲ異ニスルモノナレハナリ若シ皇位繼承ノ順序ニ於テ攝政ノ位ニ充ルモノ女子ナルトキハ帝國憲法ニ於テハ女子ヲ以テ攝政トナシ得ヘシト雖トモ歐洲大陸ノ制度例ヘハ孛國白國ノ如キハ男系ノ男子ヲ以テ攝政トナスヲ主義トス蓋シ帝國憲法ノ主義ハ血族ノ最近ナルモノヲ以テ攝政ノ位ニ即カシムルニアレハナリ  
 攝政ノ位ノ消滅スルハ君主ノ命令ニヨルニアラスシテ攝政ヲ置カレタル故障ノ消滅セルトキハ自然ニ其位置ハ消滅スヘシト雖トモ君主尙ホ親政ヲ厭ヒ攝政ヲ以テ事ヲ繼執セシメントスルトキハ攝政ハ攝政タルノ資格ヲ失ヒ其時ヨリ君主

ノ代理者トナルモノナリ  
 本章ヲ終ルニ臨ミ一言君主ノ代理者ナルコトヲ説明センニ統治ノ能力アル君主カ統治權ノ一部分ヲ臣下ニ命シテ自己ノ名義ニ於テ事ヲ執ラシムルトキハ其事ヲ執ルモノ之ヲ攝政ト云ハス代理者即チ代表者ト稱ス例之ハ君主疾病又ハ海外旅行ノタメニ憲法上君主ノ大權ト認メタル事務ヲ親カラ爲スヲ得サル場合ニ代理者ヲ命シテ事ヲ執ラシムルトキハ其代理者ノ行爲ハ即チ君主ノ行爲ニシテ法律上ノ効果ハ同一ナルモノナリ夫ノ法律ヲ裁可スルニハ君主直接ノ行爲ヲ必要トシ國務大臣ヲシテ之ニ代ハラシムルコトヲ得サルモノナルカ故ニ君主親カラ裁可チナスヲ得サルトキハ之ヲ皇族ノ一人ニ委託シテ裁可セシムルカ如キ外國ノ歷史上往々見ルトコロナリ歐洲諸國ノ例ニヨレハ代理者ハ多ク萬一ノ不幸アルトキ君主ノ位ニ即キ又ハ攝政ノ位ニ即クヲ得ヘキモノニ之ヲ委任スルヲ例トスト雖トモ其攝政ト異ナルノ點ハ統治權ノ全部ヲ執行スル能ハサルト委任ニヨリ事ヲ執ルモノナルカ故ニ君主ニ對シテ責任ヲ負フトノ二點ナリトス

第四章 國境



國境トハ唯一主權ノ下ニアリテ完全ナル統御ヲ受クル一定ノ土地ヲ指示スル語ナリ舊來ノ法理論ニ於テハ國境權ヲ以テ土地ヲ所有スルノ完全ナル權力ト認メ完全ナル土地<sup>地</sup>所有權トハ並ヒ行ハレサルモノト認メタリ然ルニ方今ノ法理論ニ於テハ土地ハ統治ノ客体ニシテ所有權トハ種類ノ異ナル法律上ノ關係ヲ云ヒ完全ナル所有權ト完全ナル統治權トハ同一ノ土地上ニ行ハレ得ルモノナルコトヲ認定セリ

舊來ノ法理論ニ於テハ主權者カ土地ニ對スル權力ヲ其土地ニ居住スル人民ニ對スル權力ト同一視シ二個ノ間ニ區別ノ存スルモノアルヲ認メサリ然ルニ土地ニ對スル權力ト人民ニ對スル權力トハ二種特異ノ性質ヲ有スルモノニシテ土地ニ對シテノ權力ハ土地ニ居住スルモノニ限り人民ニ對スル權力ハ臣民タル身分ニ伴隨シテ其人國境外ニアルトキニテモ尙ホ之カ効果ヲ及ホスヲ得ヘシ若シ外國人國內ニ居住スルトキハ之ニ對スル權力ハ土地ニ對スル權力ト同一ナル權力ナリト雖トモ均シク國內ニ居住スル臣民ニ對スル權力ハ土地ニ對スル權力ニアラスシテ其人ニ對スルノ權力ナリ

四七

國境ハ唯一主權ノ下ニアルモノナルカ故ニ一國內ニ二個ノ主權權力ノ行ハルヘキモノニアラス他言スレハ國境權ハ素ト所有權ト相併存スヘキモ同一ノ土地ニ於テ二個ノ國境權ハ決シテ併存スヘキモノニアラス既ニ一個ノ主權ニ服従スルトコロノ國土ハ又々他ノ權力ノ應用ヲ受クヘキモノニアラサルナリ然レトモ此主義ハ未タ全ク貫徹セス實際ニ應用シ得ヘカラサル場合ナキニアラス例トビハホーデンゼー<sup>ト</sup>唱フル湖水ハ澳、獨、瑞、伊四國ノ境界ニ接スルカ故ニ其上ニ及ホスヘキ主權々力ヲ爭フモノ常ニ絶ユルナク論議終局セサルカタメニ之ヲコンドミニネー<sup>ト</sup>唱ヒ共ニ主權ヲ行フノ地ト認メタルヲ以テ一個ノ土地上ニ二個以上ノ國境權存スルカ如キモ是レ唯ターノ例外タルノミ

東洋諸國ニ行ハル、<sup>「エキストラ」</sup>テリトリアリテ<sup>「Extra Territoriality」</sup>治外法權ハ是亦タ一種ノ例外ナナスノ皮想アリト雖トモ一國ノ主權他ノ主權ニ對シテ條約ヲ締結シ自由任意ニ承認シタルトキハ治外法權ノ行ハル、土地ヲ指示シテ<sup>「コンドミニネー」</sup>ト同一視スルハ誤認ノ甚シキモノト云ハサルヲ得ス其他國際條約ニヨリテ所謂<sup>「インターナショナルセルヴィチエド」</sup>國際上ノ地役ヲ認メタル場合アリ例之ハ獨逸ハ<sup>「ルグゼンボルク」</sup>ト



條約ヲ締結シ若シ佛國ト交戦スルカ如キ不幸アラハ我國ノ兵隊ハ其國ノ國土ヲ通過スルコトヲ許スヘシトノ條約アリサレトモ是亦々治外法權ト同一ノ性質ヲ有スルモノニシテ外國主權ノ作用トハ云ヘ共ニ皆ナ其國政府自ラノ任意承認ニ出タルモノナリ

### 第四回

### 第五章 臣民

臣民トハ主權ノ下ニアリテ完全ナル服從義務ヲ有スルモノナ云フ茲ニ完全ナルトノ詞ヲ用ヒタル意味ハ猶ホ無條件ナリト云フニ同シク無制限ナル主權ニ對シテ無制限ノ服從者ト云フコトニシテ法律命令ノ下ニ服從スルト云フハ法律アルカ故ニ服從義務ヲ生スルモノニアラス服從義務アルカ故ニ主權者ノ命令ナル法律ニ服從スルノ義務ヲ生スル所以ナリサレハ臣民ハ主權者ニ對シテ犯サレ得ヘカラサル所ノ權利又ハ自由ノ區域ヲ有セス主權者カ法律ヲ變更スル場合ニアリテハ臣民ノ既得權ト思惟セシモノモ全然蹂躪セラレ之レカ救正ヲ訴フルノ道ナシ之ニ反シ國內ニ在留スル外國人ハ國內ニ居住スルノ條件ニヨリ服從義務ヲ有ス

ルカ故ニ國境ヲ離ル、トキハ直ニ服從義務ヲ免脱スルモノニシテ夫ノ臣民カ國境ノ内外ニアルヲ問ハス主權者ノ命令ニ服從スヘキ義務ヲ負担スルモノトハ大ニ其趣キヲ異ニスルモノナリ  
以上ノ法理ニヨリ臣民ヲ以テ一ノ統御ノ客体ト認メ國土ト分離シテ之ヲ説明スルモノニシテ國內ニアル外國人ヲ服從義務ハ主權ノ國土ニ對スル權力ナリ  
臣民籍ハ臣民權ナリトア説ト臣民權ニアラストノ説ハ學者間ニ論議セラル、所ノ二説ニシテ之ヲ臣民權ナリト云フ學派ノ主張スル所ハ大概左ノ如シ  
一定ノ權利義務ハ國民ノ專有スル所ノモノニシテ外國人ニ及スヘキモノニアラス例之ハ政權ノ如キ尙ホ之ヲ細別スレハ撰舉權被撰舉權及自治体ノ職務ヲ執ルコト又ハ陪審官トナリ或ハ兵役ヲ義務ヲ盡スカ如キ所謂公民權ト稱スルモノハ臣民タルノ資格ヲ備フルモノナルカ故ニ臣民籍ハ即チ臣民ノ權利ナリト云フ法得ヘシト  
以上ノ學說ハ法理士完全ナル理論ト認ムルヲ得ヌ所謂政權ヲ有スルニ臣民タルノ身分ヲ必要トスルハ主權者政權ヲ附與スル要件ノ一部ト認ムルモ之ヲ以テ唯



一ノ要件ト認ムルニアラス他ノ要件ト共ニ相伴フテ始メテ政權ヲ有シ得ルモノナリ例之ハ臣民ノ一人タルモノニテモ婦女子ハ之ニ參與スルヲ許サストスル如キ又ハ一定ノ年齢ヲ必要トスルカ如キ或ハ財産上ニ制限ヲ附スルカ如キ臣民タルノ要件外ニ尙ホ各種ノ要件ヲ具備スルヲ必要トスルカ故ニ是等ヲ指シテ臣民籍ヨリ生スルノ權利ト認ムルハ法理上完全ナル見解ト見做スヲ得ス以是近世ノ學者ハ臣民權ナル語ヲ避ケテ之ヲ臣民籍ト稱ス身分即チ臣民籍ハ權利ニアラスシテ服從ノ關係タリトス而シテ臣民權トハ憲法史上著明ナル事柄ナルカ故ニ聊カ其來歴ヲ茲ニ畧說スヘシ

臣民權ナル語ノ公然法律上ニ行ハレ來リタルハ近來英國一千六百二十七年ノ革命及ヒ一千六百八十九年ノ革命トニ始マルモノニシテ當時ノ法典ニ於テ臣民ノ權利及ヒ自由ヲ宣告シタルハ新ニ臣民權ヲ認ムルモノニアラス英國ノ法律及ヒ習慣上古來存スルトコロノ權利ヲ一層確實鞏固ナラシメ專ラテ政府ニ對シ法律ノ附與スル權利ヲ保護セラレシコトヲ希望スルニ過キサリシ然ルニ其說一變シテ米國ノ獨立富國トナリ始メテ人間ノ自由ヲ宣告シ人間タルノ分限上此等ノ權

利ハ主權者ニ於テモ侵犯スヘカラサルモノナリトシテ法理ヲ確認セントセリ又佛國一百年前革命ノ際人間及國民ノ權利ヲ宣告セリト雖トモ是亦米國ト同一ノ主義ニ出テタルモノナリ其後佛國ハ十八世ノ欽定憲法ニ於テ人間ノ權利ナルコトヲ忌避シ佛國人ノ公權ト名ケタリ白耳義及獨乙各國並ニ帝國憲法ハ此種ノ主義ヲ採レリ然ルニ近來ハ法理學ハ尙ホ一步ヲ進メテ國民ノ權利ナルコトヲ權利ニアラストマテ論極セリ

國民籍ヲ得ル必要ノ條件ハ(第一)親族法ノ結果ニヨリ之ヲ得ルモノナリ此場合ハ生誕ヲ以テ尤モ普通ノ例トス生誕ノ兒子ハ凡テ其父母ノ國民籍ヲ襲キ新ニ生誕届ヲ爲シ戶籍簿ニ登錄シテ始メテ國民籍ヲ得ルモノニアラス戶籍簿ニ登錄スルハ唯々行政處分ノ一手續ヲ爲スモノニシテ國民籍ヲ得ルカタメニ必要ナル手續ニアラス(第二)婚姻ニヨリ之ヲ得ルモノナリ例之ハ日本ノ男子ニ嫁スル外國婦人ノ國民籍ハ從來外國ニアルト否トナ問ハス婚姻ノ所爲ヲ以テ直ニ日本ノ籍ヲ有セシムルモノニシテ婚姻シタル後ニ其籍ヲ送付スルハ亦法律上必要ノ手續ニテラス唯々行政上或ハ警察上ノ一手續キタルニ過キサリナリ之ニ反シ養子ハ養子タリ



ヨリ直ニ國民籍ヲ得ルモノニアラス本國ノモノ外國人ノ養子トナルモキハ特別ニ本籍ヲ脱却シテ外國ニ歸化スルノ手續キナサレハ國民籍ヲ得又ハ喪フコトヲ法律上認ムルモノニアラス私生子ハ其父之ヲ認メテ自己ノ籍ニ依ラシムルコトヲ諾シタルトキハ特ニ歸化ノ手續キニヨラズシテ國民ノ籍ヲ得ルモノトス

國民籍ヲ喪失スル場合ハ親族法上ノ結果ニヨリ之ヲ喪失スルコト猶ホ之ヲ獲得スル場合ニ於ケル反對ノ道理ヲ以テ説明スルヲ得又外國ニアル國民ニシテ國內主權ノ命令ヲ遵奉セス之ニ服従スル義務ヲ拒ム場合ニアリテハ國民籍ヲ剝奪スルノ例少ナカラス例之ハ獨逸法ニヨルニ兵役ノ命令ニ服従セス又ハ國家開戦ノ場合ニ際シ呼戻シテ命令ヲ受ケテ歸國セサルモノハ國民籍ヲ剝奪スヘシトシ又一定ノ年限間例トヘハ獨逸法ニヨレバ十年間引繼キ外國ニ居住シ歸國セサルモノハ國民籍ヲ脱却ス但シ未タ其年限ノ滿タサル間ニ至當ノ手續ニヨリ尚ホ臣民權ヲ保存センコトヲ出願スルトキハ之ヲ許可スルコトモ又舊來ノ刑罰ニヨリ國民籍ヲ剝奪スルコト其例寡ナカラスト雖トモ近世ニ至リテハ外國ノ成法上

國民ノ階級

國民籍ヲ剝奪スルノ刑罰ヲ廢止シ唯タ獨逸國ニテハ或ル一種ノ危險ナル宗教ノ一派ニ對シテ國民籍ヲ奪去スルノ刑罰ヲ存スルノミ然リ而シテ國民籍ヲ剝奪セラレタルモノハ國內ニ居住スルコトヲ許サス又自ラ乞フテ國民籍ヲ失ヒ外國ニ歸化セルトキハ國內ニ居住スルヲ許サスシテ一定ノ期限內ニ必ス國內ヲ退去スルコトヲ命ジ若シ其期限ニ於テ國內ヲ退去セサルトキハ國民籍ヲ脫離スルノ免許狀ハ無効ニ屬シ尙ホ國內ニ居住スルトキハ臣民トシテ取扱ハレタリ

以上講述スル所ノ事柄ハ歐洲各國普通ニ行ハル、法制ヲ採テ畧說シタルニ過クズ我國ノ規定如何ハ未タ充分ナル法律ヲ存スルモノナキヲ以テ以上ノ法理ト符合スルモノアルヤ否ヤハ余ヲ斷言スルコト能ハサル所ナリ尙ホ此點ノ詳細ハ國際私法ノ講義ニ於テ充分討究セラレヘシ

**第六章 國民ノ階級**

法律上國民間ニ各種ノ等差ヲ設クルコトハ近世ノ國體ニ於テハ唯タ榮譽ノ一點ニ止マリ權力ヲ分配スルモノニアラスト雖トモ舊來ノ國體ニ於テハ臣民間ニ權力上ノ等差ヲ設ケタリ權力上ノ等差トハ臣民ニ或ル一種ノ臣民ノ命令ニ服従ス



ルノ義務ヲ負フモノナリトセリ例トヒハ日本及歐洲ニ行ハシタル封建制度如キモノ之レナリ最下級ノ人民ハ唯々主權者ノ權力ヲ下ニアルタラズ臣民ハ或ル一部ノ命令ニ服從セル有様ヲ稱シテ法律上貴族制度云フ何ソナレハ法律上貴族ト云フトキハ普通ノ臣民ヨリハ特種ノ價值アリテ權力ノ一部分ヲ掌握ス即チ命令權ノ一部分ヲ有スルモノナリ此類ノ貴族ハ歐洲中獨逸ノ或ル部分ニ尙ホ遺存セリサレトモ其他ノ國ニ於テ普通ノ貴族ト稱スルモ其ハ權力ヲ分配セザル結果ニアラスシテ榮譽ヲ附與スルノ結果ナリ爵位勳賞等ノ如キ皆チ命令權ヲ分配スルモノニアラス唯々榮譽ヲ附與スルニ過キスシテ臣民ハ平等タリトノ原則ヲ妨クルモノニアラス故ニ近來歐洲ノ憲法ニ於テハ臣民ハ法律上皆チ平等ナリトノコトヲ宣言シ尙ホ貴族ノ稱號ヲ附與スルモ憲法上毫毛抵觸スル所アラザルモノトス

第五回

第三編 統御ノ機關

君主ハ國權ノ主体ヲナスモノニシテ國權ヲ一個人ト俾想(Personification)シ之ヲ名

ケテ君主ト稱ス故ニ君主ハ國境權ノ主体ニシテ臣民ニ對シテハ統御ノ權ヲ有スルモノナリ統御者タル君主以外ノモノヲ稱シテ臣民ト云フ然リ而シテ統御者タル君主ハ身親ラ萬般ノ政務ヲ處辨スル能ハサルカ故ニ之ヲ統御スルノ機關ト有スルヲ必要ナリトス

共和政体ノ國ニ於テハ國民即チ主權者ナレハ政府ニ云ヒ國會ニ云ヒ皆チ主權者タル國民ノ機關ナリト雖トモ純然タル君主國ニ於テハ君主即チ主權者ナルカ故ニ政府及國會ハ君主ノ機關ナリトス今統御スルノ機關ヲ區別シテ二種トナス曰ク國會曰ク政府是レナリ以下順次之ヲ宣明ス

第七章 國會

國會ノ法理ヲ曉得スルニハ少シク其沿革ニ遡リテ如何ナル變遷ヲ經過シタルモノナルヤチ攻究セサル可ラズ元來民人相集マリテ以テ政務ヲ評議スルコトハ我邦ノ歷史上未ダ曾テ其例ヲ見ス故ニ之カ由來チ歐洲諸國ノ政度史ニ討尋スルハ又已ムコトヲ得サルナリ抑モ歐洲諸國現今ノ國體ヲ決シテ希臘及羅馬ヨリ傳襲ス來レルモノニアラスシテ日耳曼人種固有ノ制度ヨリ發達醇化セルモノナレハ最



モ古キ歴史ヲ有スルモノナリ夫ハ羅馬人カ始メテアルプス山嶺ヲ踰ヘテ歐洲大陸ノ中原ニ侵入シタルトキニ方リ先ツ彼等ハ着目注視セル所スモノハ日耳曼人種ノ制度タル國民ノ集會ヲ以テ共同ノ事務ヲ處理スル習慣ナリト云フ蓋シ當時日耳曼人種中ニアリテハ上ニ歳クヘキ國君ノ如キモソアルナク唯戰時ニ際シテノミ將帥ヲ定メ平時ニアリテハ將ト兵トノ區別ナク即チ上下ノ關係アラサリシ而シテ荷モ武器ヲ提携シ得ル男子ハ毎歲春秋二季ニ集會シ以テ兵力ノ調檢ヲ行ヘタルコトアリシカ遂ニ其集會ヲ利用シテ其部落内ニ發生シタル所ノ重要ナル爭訟ヲ裁斷シ又ハ政務ヲ議定シタルモノナリ然レトモ當時ニアリテハ未ダ軍事政事ノ區別アルナク相一致セルノ状態ナルカ故ニ國會ニ即チ兵隊ニシテ政治ヲ司トルノ權力ハ兵ニ將タルノ權力ナリシ而シテ其將帥戰時ニ定メテ常置ノ大將遂ニ後世君主ノ原由ヲナシタリ故ニ歐洲ノ制度ニアリテハ先ツ國民集會ノ制アリテ而シテ後世君主政體ヲ發生シタルモノナリ降テ中世ノ頃及ヒ社會ノ状態一變シ土地所有ノ大ナルモ政治上下ノ權力ヲ占領スルコトナリ租

五五

稅ヲ納メ兵役ニ服シ或ハ地方警察ノ責ニ任スルモノハ土地ヲ所有スルモノノ義務ナルカ故ニ國王ノ最高顧問トナリ國政ニ參與スルモノモ亦タ土地所有權ヲ有スルモノナルニ至リ軍人ノ集會ハ變シテ土地所有者ノ集會トナリ然レトモ今チ去ル百年前ニ起リタル夫ノ佛國ノ大革命ハ全ク此制度ヲ破壊シタルモノナリ故ニ歐洲大陸ニ於テハ佛國ノ革命ヲ以テ一ノ境界トナシ其前後ニ於テ國會ノ性質ヲ全ク異ニセリ現今社會ノ組織ハ上古ノ如ク軍人ヲ以テ標準トセス又中古ノ如ク土地所有者ヲ以テ標準トスルモノニアラスシテ直チニ一個人ヲ以テ社會組織ノ元素ト見認メ社會ノ事情ノ許ス限リハ國民一般ヲシテ政務ニ參與スルヲ得セシムルヲ目的トナシタレハ國會ハ遂ニ國民集會ノ場所トナルニ終レリ故ニ現今ハ軍人又ハ土地所有者ノ權力ヲ專有スルヲ許サズルモノナリ

上來講述シタル所ニヨリテ之ヲ觀レハ國會ノ變遷ニ三時期アルコトハ歐洲大陸ノ歴史ニ於テ明カナリトス而シテ英國國會ノ歴史モ大陸ノ歴史ト同一ノ變遷ヲ經過シタルモノナレトモ保守ノ精神盛カナル國ナルカ故ニ急劇ノ變動ヲ見ルナク徐々ニ變遷シタルモノナリ國會ノ沿革歴史ハ大略説明シタルヲ以テ以下國



會ノ法理ニ進ンテ講述セム。國會ノ普通政治上ノ主義ニヨリ以テ之カ解釋ヲ試ミシトスルモノナル故ニ政理論トシテハ價值アルベシト雖トモ法理論トシテハ一毫ノ價値ナキモノ比々皆ナ之レナリ法理ト政理トハ之カ同一視スベカラス其間豈啻經綸ノ差ノミナランヤ故ニ法律上ノ性質ヲ解説セシト欲セハ先ツ虚心平氣以テ其物ノ本体ヲ觀察スルコトヲ必要トス。

學者カ國會ノ法理ヲ説明スルヲ見ルニ其說大凡三派ニ別レタルカ如シ即チ國會ヲ認メテ直ニ主權者ナリトノ說ト國會ヲ認メテ臣民ヲ代表スルモノナリトノ說ト國會ハ一ノ政務ヲ執行スル所ノモノナリトノ說是レナリ以下之ヲ詳說セム。

第一派ノ說ニ曰ク國會ハ主權者即チ統御ノ主体ナリト此說ハ不正謬論タル第一編ニ講述シタル所ニヨリテ已ニ明瞭タルヲ以テ今復諸子ノ清聽ヲ汚サハルベシ唯タ此說ハ英國ノ如キ國体即チ國會ヲ以テ立法部トシテ大ニ政体國ノミニ適用スベキモノニシテ純乎タル君主政体國ニハ決シテ容ル可カラサルノ說アリ。

第二派ノ說ニ曰ク國會ハ國民ノ代表者即チ統御ノ客体ナリト此說タル頗ル有力

ノ辨護者ヲ有スルモノナリ舊來ノ所說ニヨレバ臣民各個人ハ被撰人ヲ代理者トシテ國會ニ參與列席セシムルモノナリト解釋シタレトモ此說ノ非ナルハ方今世論ノ共ニ認ムル所ナリ然ルニ近來ニ至リ代表說ニ一種ノ新主義ヲ加ヒテ國會ハ國民全体ヲ代表スルモノナリ而シテ代表者民法上ノ所謂代理ニ類スルヲ主權者法律ヲ以テ之ヲ代理者ト認ムルヲ命令シタルモノナリト此說タル其大体ニ於テハ非難スヘキニアラサルモ代理ナル文辭ヲ漫然國會ノ解釋ニ用ニルニ至リテハ非難ヲ免レサルガリ元來代理ナルモハハ一個人又ハ法人ノ他人ニ對スル關係ヲ云フモノナレバ國民ヲ認メテ一個人又ハ法人トナズニアラサレハ得テ之ヲ言ヒ得ヘキモノニアラス然レトモ國民ハ一個人ニアラス將亦無形人ニモアラサルカ故ニ決シテ代理者ヲ有スヘキ理由ナク又之ヲ用ユルノ必要モ之レアラサルナリ然ラハ則チ代表ナルモノ果シテ耶ノ邊ニ存スル乎法理上代表ノ精神ヲ以テ國會ヲ説明セントスル抑モ謬見ナリト評セサルヲ得サルナリ。

第三派ノ說ニ曰ク國會ハ主權者ノ臣民ヲ統御スルノ機關ナリト此說ニヨリハ國會ハ決シテ統治權ノ主体ニアラス又客体ニアラス單ニ政務執行ノタメニ設ケタ



ル所ノ一ノ官府タルニ過キスシテ唯々其他ノ官府ト差異アル所以ノモノハ即チ國會ハ主權者ヲ代表スル能ハサル消極的ノ點アルニ是レ實ニ國會固有ノ性質ニシテ他ノ行政官府ハ皆チ政府ノ名義ヲ以テ第三者ニ對シ政務ヲ執行シ得ヘキモノナリト雖トモ國會ハ是ニ反シ政府ノ名義ヲ以テ第三者ニ對シ政務ヲ執行シ得サル所ノ官府ナリトス之ヲ約言スレハ國會ト他ノ行政官ト異ナルノ點ハ執行スル權限及ヒ其組織法ニアリ然レトモ行政官中ニ於テモ國會ト同シク撰舉法ニヨリ行政事務ヲナサシムルモノナキニアラス彼ノ地方行政ノ如キ之レナリ撰舉セラレタル町村長ノ如キ一町村ニ對シテ公法又ハ行政ノ事務ヲ執行スルモ國會カ法律議決ノコトニ參與スルモ其法理ニ至リテハ一ナルノミ然ラズ主權者統治ノ機關ト見做スモ毫モ其不可ナルヲ認メサルナリ

以上三派ノ所説ニヨリ之ヲ觀レハ國會ニ統御メ機關ニシテ大政參與ノ府ナリト解スルヲ允當ナリト信スルヲ以テ第三派ノ所説ハ能ク國會法理ヲ説明シタルモノト言フヘキナリ

國會ヲ組織スルニハ一局議院ニヨルモノアリ或ハ二局議院ニヨルモノアリ我憲

法ニ依ルトキハ二局ノ議院ヲ以テ組織スルモノト定メラレタリ而シテ上下二局院ハ如何ナル關係ヲ有スルモノナリヤ二者格別ノ職權ヲ有スルモノナル乎將亦二者相俟テ其効果ヲ生スルモノナル乎上下二院ハ決シテ格別ノ職權ヲ有スルモノニアラスシテ二者相俟テ始メテ效果アル議決ヲナシ得ルモノトス然ラハ國會ノ權限ハ二局合併体ノ權限ヲ有スルモノニシテ各局ニ職權ヲ分有スルモノニアラス故ニ其組織法ノ如何ハ決シテ國會ノ法理ヲ左右スヘキニアラサルナリ

上院ノ組織法ハ各國專ラ其歴史上ノ變遷ニヨリ定メタルモノナルヲ以テ同一ノ制度ニ出スルモノニアラスト雖トモ之ヲ概言スレハ君主國ニ於テハ貴族僧侶又ハ君主ノ親任ヲ以テ特ニ任命セラレタル者ノ三種ナリトス獨逸法ニ於テハ其他各地方或ハ大學校又ハ宗教ノ組合ヨリ議員ヲ撰舉シ上院ニ列席セシムルコトヲ得ト規定シ非君主國ニ於テハ貴族若クハ僧侶或ハ大統領ノ親任ヲ以テ任命セラレタルモノナク專ラ撰舉法ニヨリ之ヲ定ム佛國法ニヨレハ上院議院ハ專ラ地方及屬國ニ利害ノ關係ヲ有スル人ヲ集合スルヲ以テ專務トセリ

下院ノ組織ハ歐米各國及我邦ノ國法共ニ撰舉ヲ以テ成立スルモノナリ而シテ撰



續 選舉ノ手

舉ニハ直接ト間接トノ區別アリ。選舉人直ニ國會議員トナルベキモノヲ指名スルモノ之ヲ直接選舉ト云ヒ選舉人先ニ國會議員ヲ選舉スベキ人ヲ指名シ其國會議員選舉人カ投票ヲ以テ始メテ議員ヲ撰定スルモノ之ヲ間接選舉ト云フ。獨逸諸邦ニ於テハ間接選舉ノ法律カ行ハル。然レモ我邦以選舉法ニテハ凡テ直接選舉ヲ用ユ而シテ選舉ナルモノハ法律ヲ適用シテ議員ヲ指名スルノ一手續ナレバ決シテ選舉人カ一個人タルヲ權利ヲ執行スル所以ヨラズシテ全ク法律ノ結果ニヨリ議員タルモノ當撰セラレテ國會ニ列席スルモノトス。是故ニ選舉人カ被選舉人トノ間ニ全ク法律上ノ合意約束存スルモノニアラス又選舉人カ被選人カ自己ノ機關トシテ立法院ニ參與セシムルモノニアラサルナリ。是レ政理論ト法理論カ差異アル所ナレバ諸子須ラク意ヲ注シテ觀ス。

第八章 選舉ノ手續

茲ニハ專ラ衆議院ノ選舉手續ヲ日本選舉法ニヨリ講述ス。其ノ手續ハ一ニハ選舉ヲ執行スルタメニ全國ヲ區別ス。選舉區トシテ選舉ヲ執行スル。其ノ中心トナリ一ノ衆議員ヲ撰出スベキ一定ノ地方ヲ指示スルモノナリ。一ニハ選舉區ノ地理

上ノ區域廣濶ニシテ同一日ニ一區内ノ選舉ヲ執行スル能ハサルカ如キコトアルヲ以テ一選舉區域ヲ細別シテ數個ノ投票區域トナス。投票區域トハ選舉人集マリテ投票ヲナスヘキ中心ヲ指示スルモノニシテ選舉ノ當日ハ各投票區域ニ一ノ投票場ヲ設ケ全國一般同一日ニ選舉ヲナシ得ルモノトス。而シテ選舉ヲナシ得ル者ハ衆議員選舉法ニ示ス所ノ資格ヲ有スルモノナラサルヘカラス。通常一般ノ便益ヲ主トシ選舉名簿ナルモノヲ作り之ニ選舉權ヲ有スル者ノ姓名ヲ記入シ各投票場ニ其一ヲ具フ其名簿ニ記入セラレタル有資格者ニシテ投票セントスルトキハ投票掛官其名簿ニ照合シテ後投票ヲナサシム。斯ノ如クシテ各投票區其投票ノ手續ヲ終了シタルトキハ投票函ヲ選舉區ノ中心ナル役場例之ハ郡區役所ノ如キニ之ヲ集合シ茲ニ於テ始メテ選舉會ヲ開キ選舉人ヨリ立會人ヲ出サシメ以テ之ニ參與セシメ其面前ニ於テ選舉長ハ投票ヲ計算シ而シテ當撰者ヲ定ムルコトハ最多數ノ投票ヲ得タルモノヲ以テ之ヲ定メ當撰者議員タルコトヲ承諾シタルトキハ直ニ其旨ヲ届出スルヲ要スルモノニシテ當撰セラレタルモノ一定ノ時限内ニ於テ諾否如何ヲ届出テサルトキハ當撰ノ効力ヲ失シ議員タルノ資格ヲ無効トス。



以上ノ手續終了シテ始メテ國會召集ノ勅命下リ國會議員ハ國會開設ノ地方ニ參集シ開會ノ手續ヲ經テ始メテ議院成立スルモノナリ

### 第六回

### 第九章 國會ノ職權

國會ノ職權

國會ノ職權ハ各國國會ノ性質ヲ異ニスルカ故ニ之ヲ概言スヘカラスト雖トモ其執行スル事項ハ凡テ同一轍ニ出スルナリ要スルニ事務ノ種類同一ナルモ決議ノ効力ハ各其憲法ニヨリ異ナレルモノトス

一、國會ハ立法權ニ參與スル。帝國憲法ノ規定ニヨレハ立法ノ大權ハ君主ニ屬スト雖トモ法律ヲ制定セシトスルニハ國會ノ決議ヲ經サルヘカラストハ國會ハ立法ニ參與スルノ權アリテ自ラ立法ヲ行フヲ得ス從テ國會カ決議ヲナシタル法律案ニテモ未タ君主ノ裁可ヲ經サルニ於テハ法律トナルヲ得サルナリ唯君主ハ立法ノ權ヲ有スルモ國會ノ決議ヲ經サル以上ハ法律トナズコトヲ得サルノミ然レトモ此法理ハ專ラ我憲法ニ於テノミ云フヲ得ヘシト雖モ英國ノ憲法ヨリスレハ國會ノ決議ハ君主ノ裁可ヲモ含ムモノト云フヘシ何トナレハ英國ノ國會ハ

上下二院ノミナラス君主ト三局部ニ分離ス故ニ國會ノ決議ト云フトキハ君主ノ裁可ハ之ニ包含セラル、モノニシテ英國々會ハ立法權ヲ有スルモノト云フヲ得ヘキナリ又佛國ノ國體ニアリテハ立法ナル意味ハ我國及英國ト少シク其趣キヲ異ニシ主權者國會ニ委任シテ其權限内ニ於テ發布セシムル命令ヲ云フ故ニ佛國憲法ニ於テハ國會ハ立法スト云フヲ得ヘシ但シ立法ハ主權者直接ノ命令ニアラスシテ國會ニ委任セラレタル命令權ト云フコトナリ

二、國會ハ豫算表ヲ議定スルヲ以テ各國普通ノ習慣トス。豫算表トハ政府行政官ニ對シテ金錢ノ出納ヲ命スル所ノモノトス或ハ豫算ナル文辭ヲ解シテ政府ハ豫メ將來ノ會計ヲ占トスルモノナリトスル者アリト雖モ之レ其誤レルモノト云フヘキナリ何トナレハ唯ニ明年ノ歲出入ヲ豫メ想像スルニ止マラスシテ豫算表ニヨリ金錢ヲ出納スヘキコトヲ命令スルモノナレハナリ故ニ行政官ヨリ之ヲ看ルトキハ一ノ遵守スヘキ規則ト云ハサルヲ得ス以是國會ノ協賛ヲ必要ナリトス

國會カ豫算表ヲ決議スルノ權限如何ニ關シテハ各國其法ヲ異ニシ歐大陸中ニ於



テ佛國法ノ流ヲ汲ム白耳義伊太利瑞西等ノ憲法ニ於テハ豫算表ハ毎年法律ヲ以テ之ヲ定ムルモノトスルカ故ニ其場合ニ於テハ豫算ハ法律ノ効力ヲ有シ之ニ抵觸スル從來ノ法律ハ凡テ其効力ヲ失スルモノトス例之租稅ヲ徵収スルノ法律存シ而シテ國會ハ豫算表ニ於テ租稅ノ出納高ヲ議決セラルトキハ假令租稅ヲ徵収スルノ法ハ存立スルモ行政官ハ租稅ノ徵収ヲナス可カラサルナリ何トナレハ豫算表モ法律ナリ稅法モ亦法律ナルカ故ニ二者互ニ抵觸セルトキハ新法ヲ以テ舊法ヲ廢シタルモノトス又租稅ヲ課スルノ法律ナシト雖トモ豫算表ニ於テ之ヲ徵收スヘキコトヲ決議シタルトキハ人民ハ租稅ノ義務ヲ負擔セサルヘカラス是レ豫算表ヲ以テ一ノ法律トナスノ法理アルカ故ナリ然レトモ獨逸諸國ノ憲法ニヨレハ豫算表ハ立法ノ手續ニヨリ議決スルノミニシテ法律ニアラスト規定セリ以是人民政府ニ對シテ租稅ヲ納ムルノ義務ヲ生スル所以ノモノハ豫算表アルカ故ニアラスシテ他ノ法律ニ基キ生シタルモノナリトス故ニ國會カ豫算案ヲ決議スルトキハ凡テ法律ノ範圍内ニ於テ之ヲ左右スヘク從來ノ法律ト抵觸スルカ如キ決議ヲナス可カラズ議會カ豫算案ニ對スル權限ハ終始法律ノ制限ヲ受ケサルヲ得

サルナリ英國ノ規定ハ以上所述セル佛國獨國二國ノ制度ヲ混同シタルモノニシテ豫算表其モノヲ以テ法律ト認メス凡テ法律ニ從フテ決議スヘキモノトナス但法律ト抵觸セサルコトニシテ新ニ豫算表ニ於テ人民ヨリ徵収スヘキ租稅ヲ可決シタルトキハ其事項ノミニ對シテ豫算表ハ法律タルノ効力ヲ有ス帝國憲法ノ法理ハ歐洲諸國ノ法理ト異ナリ憲法ノ明文ヲ以テ豫算ハ議會ノ協賛ヲ經ヘシ(第六十四條)ト特書シ法律ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ記載セサルカ故ニ法律ノ効力アリヤ否ヤニツキテ頗ル疑點ノ存スル所ナリト雖トモ我憲法全体ノ精神ヨリ論スルトキハ豫算表ヲ以テ法律ノ効力アルモノト認メサルヲ知ル可キナリ何トナレハ我憲法ノ原則ニ於テハ直チニ帝國議會ヲ以テ立法者ナリト認識セラルカ故ニ從テ帝國議會ノ決議ハ未ダ必スシモ法律ノ効力アル可キモノニアラス憲法ハ必ス議會ノ協賛ヲ經由スヘシト特書スルモ協賛ヲ要スルモノハ皆ナ悉ク之ヲ法律ナリトナスハ帝國憲法ノ法理上決シテ恕スヘカラサル解釋ナリト云ハサルヲ得サレハナリ以是議會ハ決議ヲナシテ法律ニ背反スル歲出入ヲ豫算表ニ加フルモ其決議ハ凡テ無効ナリト云フヘク又議會ハ豫算表ヲ否決シ之ヲ決議



チナサ、ルトキハ政府ハ半錢一毫ノ出入チモナスコトヲ得ストナスヘカラス又豫算表ト他ノ法律ト抵觸セルトキハ豫算表ハ其効力チ失スヘク假令豫算表ニ規定セラレサルモ法律執行上ニ必要ナルトキハ之ニ拘ラス金錢ノ出納チナスチ得ヘキナリ

三、國會ハ法律案ヲ提出スルノ權利チ有ス 國會ハ唯クニ君主ノ顧問ニ應スルノミナラス自ラ法律ヲ起草スルコトヲ得ヘシ此權力ハ憲法上ニ於テ一定ノ限界チ定メ憲法ノ明文ヲ變更スルノ法律案ハ之ヲ提出スルコトヲ得ス又君主ノ大權ニ屬スル區域ハ之ヲ侵ス可ラス故ニ或ル場合ニ於テハ同一事項ニシテ法律ヲ以テ規定スルモ勅令ヲ以テスルモ共ニナシ得ル事柄ニツキテハ議會ハ充分ナル自由チ有スルナリ

四、議會ハ上奏シ或ハ政府ニ建言シ又ハ人民ノ請願チ受クルノ權アリ

五、議會ハ撰舉セラレタル議員ノ資格ノ有無チ審査スルノ權アリ 此場合ニ於テハ議會ノ職權ハ裁判々決ノ作用チナスモノトス凡ソ撰舉ノ事項ニ關シテ法律ニ背反スル事ヲ認メ或ハ撰舉セラレタル議員ノ資格チキチ認メタルトキハ議

會ハ何時ニテモ委員ヲ命シテ之レカ調査チナサシメ而シテ全員ノ議決チ以テ議員ノ資格チ奪フコトヲ得ルモノニシテ此判決ニ對シテハ上告スルチ許サ、ルナリ

以上ハ專ラ我國ニ適用スヘキ議會ノ職權チ講述シタルモノナリ歐洲大陸ノ國會ニ於テハ尙ホ一層廣大ナル職權チ有シ英國々會ハ最高ノ裁判所タル職權チ有ス即チ普通裁判所ノ判決ニ對シテ上告シ破毀チ請求スルモノアレハ國會ハ最高ノ法廷トナリ以テ審判ス歐大陸ノ國會ハ英國ノ如ク普通裁判事項ニ對シテハ議會其職權チ有セス但國務大臣或ハ高等ノ行政官法律ニ反シ又ハ政界チ誤マルカ如キ行為ニ關シ議會ハ之ヲ審判スルノ權アリ此場合ニ於テハ下院ハ檢事ノ地位ニ立チ其罪科チ告訴シ上院之レカ裁判官トナリ判決チ下セルコト歐洲歷史上決シテ鮮少ニアラサルナリ

國會議員ノ地位

第十章 國會議員ノ地位

國會議員ハ其職務チ執行スルタメニ法律上特別ノ保護チ受ケ又一定ノ義務チ有スルモノナリ議員トナルヤ否ヤハ全ク各個人ノ自由ニシテ其權利チ拋棄スルコ



トナ得ルモ議員タルノ資格ヲ有スル以上ハ議會ニ列席スルノ義務ヲ有セサル可  
 ラス以是國會ノ許諾ナク欠席スルコトヲ得ス又撰舉人ト被撰舉人トノ間ニハ委  
 托或ハ訓令ノ性質ヲ有スル關係アルモノニアラス撰舉ハ法律ヲ適用シテ議員ヲ  
 指名スルノ一手續ニ過キサレハ一タヒ撰舉セラレタル以上ハ全ク之ト關係ヲ斷  
 絶ス以是撰舉區ノ變更ハ議員ノ資格ニ影響ヲ及ホスモノニアラス尤モ撰舉セラ  
 レテ一ノ法人ヲ代表スルモノハ本人タル法人ノ存廢ニヨリテ其資格ヲ得喪スヘ  
 キモノナリ

議員ハ國會ノ開期中ニアリテハ現行犯又ハ國事ニ關スル重大事件ノ外ハ尋常警  
 察權ノ爲メニ其自由ヲ奪ハル、コトナシ但シ國會ノ承諾ヲ經タルトキハ警察權  
 ハ其自由ヲ侵スヲ得ルモノトス而シテ國會部内ノ警察權ハ專ラ國會自身ノ取締  
 ニ委任シ一般警察令ニヨリテ論スルコトヲ得ス之ヲ要スルニ尋常警察權ハ國會  
 内ニ入ルヲ得ストハ一ノ原則ナレハナリ獨逸國法ニ於テハ國會議場ニ於テ吐露  
 シタル言論ヲ再ヒ國會外ニ於テ吐露スルモ警察權ハ之ヲ問フコトヲ得ス我國法  
 ニ於テハ之ト異ナリ國會議員自ラ其言論ヲ國會外ニ於テ公言シタルトキハ一般

ノ法律ニ照シテ之ヲ處分スルコトヲ得ルト規定セリ

國會議員ノ特權ト稱スルモノハ多クハ國會其者ノ特權ニシテ各議員ハ其一分子  
 ナ形造シルモノナレハ全体ヲ保護スルヨリ此特權ヲ有スルモノトス故ニ國會閉  
 場セル場合ニアリテハ議員ハ此等ノ特權ヲ有スルモノニアラス國會議員ノ歳費  
 手當ヲ得ル如キコトハ其一身ニ具フノ特權ニシテ議員全体ニ關係セス以是以上  
 ノ特權トハ其趣キヲ異ニセリ  
 終リニ臨ミ一言スヘキハ國會ノ事務ハ一ノ開期ヨリ他ノ開期ニ受繼カサルモノ  
 ニシテ苟モ其國會カ新ニ開會セラレタルトキハ全ク其職務ヲ新ニスル者ナルコ  
 ト是レナリ是レ即チ國會ノ他ノ官府ト異ナル所ニシテ今其理由ヲ察スルニ國會  
 ナルモノハ永久官府ニアラスシテ特ニ主權者ノ命令ニ遇フテ始テ成立シ或ハ解  
 散スルモノナレハナリ

第七回

第四編 行政政府

第十一章 官府

行政政府  
官府



行政ヲ廣義ニ用ユルトキハ總テ政務ヲ稱スルモノナリト雖モ法理學上行政ト云フハ狹隘ナル意義ニ用ヰタルモノニシテ法律勅令ノ下ニアリテ一個人ニ對シ權利義務ニ關スル處分ヲナス事柄ヲ云フナリ而シテ之ヲ職トスルモノハ即チ行政官ナリ行政官ハ高權ノ作用ヲ以テ國民一個人ニ對スル官吏ヲ指揮スルモノナルヲ以テ假令政務ニ參與スルモノト雖モ高權ヲ執行スルニアラサルモノハ行政官ト云フ可カラズ又高權ヲ執行スルモ法律規則ヲ發布スルニ止マリ直接ニ一個人ニ對シテ處方ヲ爲サ、ルモノハ行政官ト云フヲ得サルナリ

行政官ノ區別ハ專ラ職權ノ上下ニヨリ之ヲ爲スモノナルカ故ニ上班ノ行政官ハ下班ノ行政官ニ對シテ監督ノ權ヲ有ス以是中央政府ノ各大臣ハ府縣知事ニ府縣知事ハ亦下級ノ行政官ニ對シテ監督ノ權ヲ有スルモノトス其監督權ノ作用ハ直接ニ一個人ニ對スルモノニアラスシテ行政部内ノ規則ニ止ルモノナレトモ一個人ニ對シテ爲ス處分ニツキテノ監督ナルカ故ニ行政官ヲ監督スルノ役所ハ又之ヲ行政官府ト云フ

行政官ノ爲スヘキ所爲ハ三種ニ區別スルヲ得ヘシ曰ク法律規則ヲ發布スルコト

曰ク既發ノ事柄ニ對シテ處分ヲナスコト曰ク法律ノ適用ヲ掌トルコト是レナリ今之ヲ詳論セン

(一)法律規則ヲ發布スルコト 行政官ハ法律上勅令若シク省令ヲ發布スルノ權利ヲ有スルモノナリ抑モ法律ハ國會ノ協賛ヲ經由シテ立法ノ首長タル 天皇陛下ノ裁可ヲ以テ發布セラルヘキモノナレトモ勅令若シクハ省令ヲ以テ規定スルノ必要アルトキハ法律上許認シタル範圍内ニ於テ之ヲ發スルヲ得ヘキモノニシテ既ニ發表セラレタル以上ハ一人ニ對シテノ効力ハ法律ト同様ニシテ假令行政命令ナルモ一個人ハ其法律ニ適合セルヤ否ヤヲ監査シテ任意ニ服從スルト否トヲ決定スル能ハス必スヤ其命令ニ服從セサルヘカラサルナリ行政官ノ發スル命令ノ尤モ著シキモノハ普通ニ警察命令ト稱スル所ノモノナリ

(二)既發ノ事柄ニ對シテ處分ヲナスコト 法律規則ヲ發布スルハ現在ノ事柄ニ對シテ之ヲ爲スニアラスシテ未來ニ生出スヘキ事柄ヲ豫想シ若シ其事柄ハ生シタル場合ニハ法律上ノ結果ハ如何ニナルヘキヤヲ規定セルモノニシテ處分ニ其結果ヲ直接ニ喚起スル行爲ナリ故ニ行政官ハ管ニ法令ニ發スルノミナラス自ラ發



シタル法令ヲ適用シテ處分スルモノナリ  
 行政官ノ行爲ニシテ法律ニ關係セサル所ノモノアリ詳言スレハ法律カ行政官ニ  
 命シテ其事件ハ行政官ノ適宜處分ニナスヘシト云フモノアリ之ヲ適宜處分ト云  
 フ又行政官ノ爲スヘキ事柄ヲ豫メ法律ヲ以テ規定シ行政官ハ其法規ニヨリテ執  
 行スル行爲ヲ名テ依法ノ處分ト云フ依法ノ處分ニヨリテ處置シタル事柄ニ對シ  
 テ行政官ト一己人トノ間ニ時トシテハ訴訟ヲ惹起スコトアリ以是行政法上狹義  
 ニ於ケル行政處分トハ依法ノ處分ヲノミ指稱スルモノトス茲ニ處分ト云フハ一  
 己人間ノ合意上ノ行爲ト其趣キヲ異ニシ直接ニ一己人ヲ束迫スル命令ノ性質ヲ  
 包含スルモノナリ若シ命令ノ分子ヲ包含セサルトキハ之ヲ行政處分ト云フヘカ  
 ラス即チ行政官ノ行爲ニテモ民法ノ支配ヲ受ルモノ、如キハ行政處分ト稱ス  
 ルヲ得サルナリ

(三)法律ノ適用ヲ掌ルコト 行政官ハ法律ヲ適用シテ一己人ノ權利義務ノ分界ヲ  
 判定スル場合アリ之ヲ裁決ト云フ此場合ニ於ケル行政官ノ行爲ハ司法裁判官ノ  
 職權ト同一ノ性質ヲ有シ法律ヲ註釋シテ之ヲ適用スルニ止マルモノトス

以上三様ノ職務ヲ執行スルモノヲ行政官ト云フ

行政官ノ組織ニ付テハ一個人ヲシテ一定ノ職權ヲ有セシムルモノト數人合体シテ  
 一定ノ職權ヲ執行セシムルモノトノ二様アレトモ表面上共ニ行政官ト單稱スルヲ  
 得ヘシ又其行爲ニ付テモ法理上區別ノ存スルアルヲ見ス唯タ單獨制ト合議制トノ  
 區別ハ官制組織内部ニ關スル問題ニシテ行政官ノ其職權ヲ執行スルハ主權ヲ代表  
 スルニ止マリ自己ノ權力ヲ施行スルモノニアラサルナリ以是行政官ニ對シテ其處  
 分ニ不服ヲ唱フルトキハ國家ニ對スルノ服從義務ヲ全フセサルモノナルカ故ニ普  
 通行政官ヲ被告トシテ訴訟ヲ提起スト云フカ如キハ明文ト法理ト適ハサルモノ  
 ニテ行政官ハ凡テ理事者若シクハ代理者ノ資格トシテ其責ニ任スルモノナリ  
 行政官吏ヲ任命スルハ君主ノ特權ニシテ是亦行政處分ノ一ナリトス故ニ法律ハ  
 一定ノ職權ヲ區域シテ之ヲ行政官ノ職務トナシ行政官ニ任命セラレタル一己人  
 ハ此職權ヲ有スルモノナリトノ未來ノコトヲ豫想シテ定メタルニ止マリ一己人  
 ナシテ其職務ニ當ラシムルハ命令ノ力ヲ以テ其人ノ權義ノ關係ニ干涉スル行政  
 處分ニ屬スルナリ而シテ官吏ヲ任用スルハ命令ナリト説ク者アリ又合意即チ契



約ヨリナルモノナリト説クモノアリ其命令説ノ立論ハ專ラ國民ノ義務ニ基クモノニシテ一己人ハ主權者ノ命令ニ服従スルヲ義務アルカ故ニ主權者國家ニ對スル職務ヲ任命スルトキハ一己人タルモノ之ヲ欲望スルト否トニ拘ラス全然服従スヘキ義務アルモノナリ但之ヲ辞退スルヲ得ルハ之ヲ放棄スルニアラスシテ免職スル主權者ノ決意ヲ促スニ過キサルナリトサレハ此説ニヨルトキハ兵役ニ從事スルノ義務ト行政官吏タルノ義務ト同一ノ法理ニ歸スルモノト云ハサル可カラズ之ニ反シテ契約ニ基クモノナリトスル論者ハ國民ノ義務ハ各個人平等均一ニ負擔スル場合ニアリテ始テ政府ハ命令ヲ以テ強迫服従セシムルコトヲ得ルモ法律ハ一般ノ臣民ニ政務ヲ執行スヘキコトノ義務ヲ命令スルモノニアラスシテ唯タ必要ノ場合ニ際シ一己人ニ對シテ之ヲ促スニ過キサルヲ以テ寧ロ契約ノ性質ヲ存ス故ニ臣民ハ之ニ服従セサルモ爲ニ違命セルモノニアラス又其義務ヲ怠ルノ非難ヲ受クルノ理由ナシト云フニアリ今予輩ノ見解ヲ以テスレハ各國其制法ニヨリテ或ハ契約説ヲ主唱スル獨逸官制ノ如キ之レアリト雖モ我邦ニ於テハ未タ官吏任命法ノ制定ナキヲ以テ從來ノ慣行ニ從テ之ヲ決セサル可カラズ而シ

テ予輩ハ契約説ヨリハ寧ロ行政命令ナリトノ説ニ左袒セントス終リニ蓋テ行政官ト政務官トノ區別ヲ明ニスルコト極メテ必要ナリ蓋シ行政裁判ノ制度ハ此區別アリテ始メテ生スルモノナレハナリ然リ而シテ政務官ト行政官ヲ區別スルノ標準ハ行政處分ト法律命令制定ノ直接ニ一己人ノ權利ニ對スルモノナリヤ將タ一般普通ニ未定ノ人ニ對スルモノナリヤヲ決スルニアリ若シ其決定ニシテ前者ニ傾クトキハ行政官ニシテ後者ニアルトキハ政務官ナリトス今假例ヲ舉テ之ヲ示サンニ國務大臣ハ一官府ニシテ内務大臣ノ如キハ最モ其顯著ナルモノナリ之ニ反シテ内務省ノ諸官員次官參事官又ハ書記官ノ如キハ皆ナレ一ノ政務官タルニ過キス故ニ總テ外部ニ對シテ命令シ得ルモノハ獨リ大臣アルノミニシテ内務省ノ行爲ハ悉ク大臣ノ責任ニ歸スルモノナリ

### 第八回

行政ニ二種ノ區別アリ即チ第一國家ハ行政第二地方ノ行政是レナリ凡テ行政ト云フトキハ國家ノ行政タル論ナキコトナリト雖トモ斯ノ如ク二個ニ區別シタルハ抑モ亦法理上理由ノ存スルモノナキニアラス前回ニ説明シタルカ如ク行政官府



トハ主權ノ直接委託ヲ受ケ國家ノ機關トシテ法律勅令ノ執行ヲ掌ルモノニシテ  
 行政法上之ヲ國家ハ行政ト云フ又地方自治ノ組織ニヨルトキハ府縣或ハ市町村  
 ナリテ公法上ノ法人トナス其公法上ノ法人トナス所以ノモノハ公法ニ於テ權利  
 義務ヲ有スル主体ト認識スルヲ以テナリ然リ而シテ地方自治体ハ政務ヲ執行セ  
 シムルタメ村長若クハ市長ノ如キ機關ヲ有ス其機關ノ執行スル事務ハ地方ノ事  
 務又ハ國家ノ行政ナリト雖トモ主權者ノ直接委託ニヨリ執行スルモノニアラス  
 シテ法人体ノ命令委託ニヨルモノナルヲ以テ恰モ間接ニ主法者ノ委託ヲ受ケテ  
 行政ヲナスモノナリ行政法上之ヲ地方ハ行政ト云ヒ以テ中央官府ノ行政ト區別  
 ナナス而シテ地方行政ノ執行スル事項ハ素ヨリ其團體公共ノ事務ヲ專務トナス  
 モ中央政府ノ命令ヲ執行スルモ亦其職掌ノアル所ナリトス故ニ監督ノ權ハ中央  
 政府ヨリ之ヲ行フコトヲ得ルナリ  
 行政ヲ區分シテ内務外務軍務等トナス所以ノモノハ其事項ヲ各種ノ官吏ニ委託  
 スル便宜ノ分業上ヨリ來レルモノニシテ行政法上此區別ヨリ法律上ニ一ノ影響  
 ナ及ホスモノニアラスナルナリ何トナレハ汎ク行政ト稱スルトキハ一己人ニ對シ

テ處分ヲナスノ義ニシテ租稅ヲ徵收スルモ警察事務ヲ執行スルモ徵兵事務ヲ執  
 ルモ皆ナ同ニノ性質ナルカ故ニ内務トハ外務又ハ軍務ニ對シテ區別ヲ附スル  
 意ニアラス軍事又ハ財政ノ事務ナ一己人ニ對シテ處分スル場合ハ悉ク皆ナ内務  
 トナリ凡テ政府ノ行政ハ内務行政官ヲ經テ執行セラルハナリ  
 行政ノ監督ニハ(第一)國會ノ監督ト(第二)行政部内ノ監督トノ二種アリ國會ノ監督  
 ハ直接ニ行政官ニ對シテ監督ヲ及ホス者ニアラスシテ唯タ間接ニ之ヲ行フニ過  
 キサルモ行政部内ノ監督ハ直接ニ行政官ノ行爲ヲ檢束制縛スル者ナリ所謂國會  
 ノ行政監督ハ真正ノ監督ニアラスシテ行政部内ノ監督權ニ一ノ刺激ヲ與フルモ  
 ノナリ何トナレハ國會ハ法律案ヲ議定シ裁可ヲ得テ之ヲ發布スル事アルモ是レ  
 全ク國會ノ行爲ニアラスシテ主權者ノ行爲ナレハナリ是故ニ一己人ハ國會ニ對  
 シテ行政官ノ處分ヲ訴出スルヲ得ス唯タ請願書ヲ捧呈スルヲ得ルノミ其請願書  
 ハ法律上國會ノ裁決ヲ俟テ効力ヲ生スルモノニアラスレハ單ニ通知ノ性質ヲ有  
 シテ監督ヲ執行スルノ手段トナルモノニアラス依是觀之國會ハ行政官ト關係ヲ  
 有スルモノニアラスシテ唯國務大臣ト關係ヲ保持スルカミ然レトモ國會ハ國務



大臣ノ行政處分ニ對シテ高權命令權ヲ應用スルニ得ス大体ノ政器ニ付テ一  
 ノ質義ヲ爲シ之カ答辨説明ヲ待ツノミ故ニ法理上國會ニ監督ハ真正ニ監督ニア  
 ラサルナリ之ニ反シテ行政部内ノ監督ハ直接ニ監督ナリトス抑モ行政部内ニ於  
 テハ行政官ノ職務ハ其種類ヨリ區別スルノミナラズ其順序ニ於テ上下ニ區別  
 ス職權ノ上下トハ監督者ト被監督者ノ別是レナリ上級ノ行政官ハ專ラ監督權  
 ミヲ掌トリ自ラ行政處分ヲナスコト稀少ナレトモ下級ノ行政官ハ專ラ行政處分  
 ナ司トリ稀ニ監督權ヲ行フモノトス行政官ノ監督ヲ執行スルハ職權ヲ解釋スル  
 ノ權力ト命令ヲ遵奉スベキ義務トノ二者ノ關係ヨリ生ズルモノニシテ行政官  
 上級行政官ノ命令ニ對シテ不服ヲ申立ツルヲ得ルハ唯一命令ノ形式上法律ニ違  
 背セル場合ニ限り命令ノ本質ニ就テ其法律ニ背戾セルヤ否ヤヲ檢察審判シテ上  
 官ノ命令ヲ拒ムヲ得ス如斯上官ノ命令ヲ自ラ判定スルノ權力ヲ制限セラル、カ  
 故ニ茲ニ初メテ監督ノ實ヲ生ズルナリ又官吏ヲ懲戒處分スルモ主權者自ラ之ヲ  
 爲スニアラスシテ行政官吏ニ委託シ其下級ノモノニ對シテ之ヲ行ハシムルカ故  
 ニ行政官タルノ職權ノミナラス官吏ノ身分モ亦上級官吏ノ爲メニ監督セラル、

日本  
 行政官  
 職權

ニ至ルモノトス  
 以上ノ組織ヲ以テ方今歐洲及日本ノ行政組織ノ原則トナスモ歷史上ノ事實ニ於  
 テハ全ク之ニ反對セル原則ヲ行ハレタルコトアルカ故ニ學者ハ右ノ原則ヲ稱シ  
 テ近世行政ノ組織法ト云ヘ又ハ官府的ノ行政組織ト云ヒ以テ地方的ノ行政組織  
 ト區別ス地方的ノ行政組織トハ凡テノ行政官直接ニ君主ノ監督ニ歸シ其間上下  
 ノ區別ナク唯々其司掌事務ノ地方ニヨリ區限セラル、ニ過キサルナリ語ヲ換テ  
 之ヲ云ヘハ中古時代ノ封建制度ハ即チ此原則ニヨレルモノニシテ主權者ハ一地  
 方ヲ區劃シ此區域ニ對スル主權ノ作用ハ凡テ之ヲ行政官ニ委託ス如斯專ラ地方  
 ニヨリ區劃スルカ故ニ之ヲ地方的ノ行政區劃ト云フ然レトモ方今ハ此制度ヲ見  
 ルコト殆ト稀ナリトス  
 行政官自治ト自治ノ二様ニ區別スルハ專ラ政治的ノ語ニシテ法理上別ニ自治ト  
 稱スヘキモノ之レアルコトナシ何トナレハ曩キニ説明スル地方行政ハ暗ニ自治  
 ニ該當スルモノナリト雖トモ自治ノ區域ト地方行政ノ範圍トハ必ズシモ一ナル  
 モニアラス又自治ヲ以テ名譽官ノ行政スルモノヲ指示スト云フノ議論ハ專ラ



獨逸學者「グナイスト」氏行政法ニ觀ル所ニシテ日本ニ行ハルモノナリサレドモ名譽官ハ必スシモ自治体ノ特有ト稱スルヲ得スシテ中央官府ノ各部ニ行ハルモノアリ且ツ自治体ニシテ有給普通ノ官吏ヲ以テ之ニ充ツルモノアルニ於テ其氏ノ議論ヤ英國行政法ノ沿革ニ就テ之ヲ云フヘク末々概括以テ自治ノ性質ヲ表彰スルニ足ラサルナリ況ンヤ我邦ノ如キ現ニ自治体ニシテ有給吏ノ法ヲ執ルモノ往々之レアルニ於テハ益々具氏ノ議論ノ疎ナルヲ知ルニ足ルヘシ

行政裁判

第十二章 行政裁判

行政裁判ハ行政監督ノ一種タルモ其外形上他ノ行政事項ト異ナルモノアルカ故ニ別章トナシテ之ヲ説明スヘシ  
行政裁判トハ各國ノ法律ニヨリテ其範圍ヲ異ニシ其性質ヲ別殊ニナスカ故ニ豫メ一般ノ原則ヲ掲ケ之カ定義ヲ下スコト能ハスト雖トモ概言スルトキハ行政官ニ對シテ臣民カ權利毀損ノ訴訟ヲナス場合ニ於テ之レニ向テ裁判ヲ下ズノ職權ヲ有スルモノヲ云フ故ニ行政裁判ノ區域ハ行政官以處分ニ限ルモノニシテ己人相互間ノ法理上ノ關係ハ行政裁判ニ屬スルモノニアラス唯々行政官ノ命令ニ

ヨリテ各個人カ相互ノ件ニツキ爭訟アル場合ニ行政裁判ヲナスコト之レアリ例之一地方ニ堤防ヲ築クニ際シ人民ノ負擔ニツキ人民相互間ニ生スル所ノ爭議ハ行政裁判ニ歸スルカ如シ是等ノ取除ハ凡テ行政官ヲ直接ニ相手取ル訴訟ナリトス然リ而シテ訴訟ヲ許ス事項ハ佛國ノ制度ニ於テハ一人ノ權利ヲ毀損セラレタリト云フヲ以テ原則ノ標準トシ獨逸就中プロイセンノ制度ニ於テハ明文ヲ以テ出訴スヘキ場合ヲ豫定セリ故ニ法ニ明文ナキ以上ハ訴ヲナスモ裁判所之ヲ受理セサルモノトス佛國法ハ即チ原則法ニシテ獨逸法ハ即チ制限法ナリ其孰レニ屬スルヤハ各國ノ制法ニヨリ定マルモノトス  
行政裁判所ハ行政權ノ内ニアリテ行政官兼テ之ヲ掌トル制度ト行政官ヲ離レテ獨立ノ裁判所ヲ組織スル場合ト又司法裁判所ニ於テ兼テ執行スルモノトノ三様ノ區別アリ獨逸ノ制ハ獨立裁判所ヲ構成シ佛國ハ行政官ニ於テ之ヲ兼テ執行シ伊太利白耳義ノ法ハ司法裁判所ヲシテ之ヲ兼テシムルニアリテ各國一様ナラスト雖トモ行政裁判ノ性質ハ專ラ行政ヲ監督スルニアリ一人ノ權利ヲ主トシテ保護スルモノニアラス唯々間接ノ影響トシテ一個人ノ權利ヲ保護スルノミ猶ホ



恰モ刑法上ノ審判ニ於ケルカ如シ故ニ其裁決ノ主要ハ法律ノ精神ヲ註釋シ行政官ヲシテ法ニ依ラシムルコトヲ目的トシ權利ヲ毀損セラレタルモノニ對シテ満足ヲ與フルヲ趣意トセサルノ點ハ各國其軌ヲ一ニスル所ナリ

行政訴訟ヲ提起シ得ヘキ事柄ハ行政ノ處分ニ止マリ法律命令ニ及フコトヲ得ス詳言スレハ一般ノ規定ニ對シテハ之ヲ訴フルコトヲ得スシテ直接ニ各個人ニ對シ行政處分ヲナシタル場合ニ始メテ起訴ノ權利ヲ生スルモノナリ而シテ行政裁判官ハ行政官ノ行爲ヲ取消シ又ハ命令スルニ止マリ行政官ニ代ハルテ自ラ行政處分ヲナスモノニアラス彼ノ普通裁判所ノ如ク執行吏ニ命シテ執行セシムル如キハ行政裁判ノ原則ニ於テ許サ、ル所ナリ何トナレハ行政官ハ官ニ行政裁判ノ監督ヲ受クルノミナラス又行政官ノ監督ヲ受クルモノナレハ行政裁判所ハ法理ヲ適用スルニ過キサルナリ

### 第九回

方今我國ニ於テ行政訴訟ハ司法裁判所之ヲ受理審判セリト雖トモ帝國憲法ノ規定スル所ニヨレハ早晚獨立ノ裁判所ヲ設置スルノ運ニ至ルヘキモノナリ然レト

### 行政裁判ノ三種

モ未タ其設定ヲ見サルカ故ニ該裁判所ノ構成如何ハ暫ク歐洲ノ例ヲ假テ其大要ヲ説明セム

歐洲ニ行ハル、行政裁判ノ制度ハ大別シテ三種トス

第一、英國ノ制度、英國ニ行ハル、行政裁判所ノ區域ハ專ラ警察命令ニ對スルノ訴訟ニ止リ行政官ヲ相手取ル訴訟ハ尋常ノ訴訟ト其法理及訴訟ノ手續ヲ同フスルカ故ニ特ニ行政裁判所ヲ設置セスシテ普通司法裁判所ヲシテ之ヲ審判セシム白耳義、伊太利ノ制度モ亦タ此制度ニ則レリ

第二、佛國ノ制度、佛國ニ於テハ行政權ノ作用ニ基ク事件ハ普通裁判所之ヲ判決スルコトヲ得ストノ原則ヲ固守シ司法權ト行政權トノ獨立ヲ保維センカダメ行政裁判所ト稱スル特別ノ法廷ヲ組織ス而シテ其制度ハ行政部内ニ於テ行政訴訟ヲ判決ストノ主義ニ則ルヲ以テ下等行政裁判所ハ司法行政官ノ職務ニ附帶セシメ上等行政裁判所ハ中央政府ノ參事院ニ統一セシメタリ

第三、獨乙ノ制度、獨乙ニ於テハ司法裁判所ヲシテ行政訴訟ヲ判決スルコトヲ許サス又行政官ヲシテ自ラ之ヲ判定スルヲ禁シ司法及ヒ行政ト分離セル特別裁判



所ヲ設置シテ之ニ行政裁判ノ事務ヲ掌ラシムルノ制ナリ  
 以上三種ノ組織ニ就テ其利害得失ノ分カル、所ハ一般ノ法理ヲ以テ之ヲ斷定ス  
 ルコトヲ得ス皆ナ各國制度ノ發達ニ基クモノナレハ其國ニ就テ之ヲ見サルヘカ  
 ラス  
 又行政裁判ノ範圍ニ付テモ歐洲諸國ノ制度ハ區々トシテ一定セス佛國ノ主義ハ  
 全然行政官ヲ相手取ル訴訟ヲ行政訴訟ト名ク何トナレハ彼國ニ於テハ行政裁判  
 所ヲ設定セル目的ハ司法權ノ爲メニ行政官ノ行爲ヲ牽束セラル、ヲ免レンガ爲  
 メニ外ナラサレハナリ又獨乙ニ於テハ公法ト私法トノ區別ヲ原則トシテ公法ニ  
 ヨルノ訴訟ハ民法ノ適用外ニアリトノ主義ニ基キ主權ノ作用ニヨリ命令ノ性質  
 ナ含ム行爲ハ民法ノ法理ヲ適用セス行政法理ニヨリ解釋ヲ下シ審判ヲナスヘキ  
 モノナリトノ原則ヲ採用スルカ故ニ一己人カ行政官ヲ相手取ルノ訴訟ニシテ司  
 法裁判所ノ管轄ニ屬スルモノ少シトセス之ニ反シテ一己人ト一己人トノ關係ニ  
 於テモ行政法ヲ以テ判決スヘキモノハ行政裁判所ノ管轄ニ屬スルモノトス又英  
 國ニ於テハ普通裁判所ヲ以テ行政訴訟ヲモ裁判セシムルカ故ニ法理上公私ノ區

別ヲナサスシテ訴訟事件ニ付テ適宜ノ法理ヲ適用セリ故ニ外國ノ制度ヨリ觀察  
 スルトキハ頗ル法理ノ錯綜ヲ惹起ストノ非難ハ免レサルヘシ例之撰擧ノ訴訟ノ  
 如キ其物ノ性質ニ於テハ民法ノ規定ヲ以テ判決ヲ下スコトヲ得サルニ英國ハ之  
 ナ司法裁判所ノ管轄ニ歸セシムルニ拘ラス判決例ニヨリテ一種特別ノ法理ヲ具  
 フル警察命令ニ對スル訴訟ト共ニ尋常裁判所ノ手續ニヨラス司法行政官ヨリ直  
 接ニ中央裁判所ニ出訴スルコトヲ許セリ以是英國ニ於ケル行政裁判ノ區域ハ事  
 實上司法裁判ノ區域ト分離セリ白耳義及伊太利ニ於テハ行政訴訟ヲ普通裁判所  
 ノ管轄ニ歸セシムルハ英國ニ類似セリト雖トモ其ノ原則ニ至リテハ佛國又ハ獨  
 國ト其趣キヲ同フシ行政官ニ對シテ行政處分ヲ訴フルモノハ行政法ヲ適用シテ  
 之ヲ判決スルヲ原則トシ民法ノ規定及ヒ其判例ニ依ラサルナリ

行政督監

第十三章 行政ノ監督

行政裁判モ行政監督ノ一種ナリト雖トモ茲ニ直接ニ行政監督ト指稱スルモノハ  
 上級行政官ノ下級行政官ニ對シテ訓令ヲ發シ命令ヲ遵奉セシムルノ職權ヲ云フ  
 モノナリ而シテ下級行政官ハ凡テ上級行政官ノ命令ニ服従スルコトヲ原則トセ



リ但各級ノ行政官ハ各々法律ヨリテ特別ノ職權ヲ有スルカ故ニ何等ノ事柄ト雖トモ上官ノ命令ナレハ全然之ニ服従スヘシト云フノ原則ヲ採ル能ハス以是職權交渉ノ問題ヲ決定スルノ標準ハ如何ナルモノナルヤハ此章ニ解説セントスル所ノモノナリ

行政官ハ上級行政官ノ命令ヲ受ケタルトキハ法律上ヨリ之ヲ我職權ニ比照シ若シ其命令ニシテ違法ノモノナルトキハ之ヲ執行スルコトヲ拒絕スルノ權アリヤ否ヤ若シ其權アリト云ハ、全然行政官ノ監督ハ行ハレサルヘシ而シテ又此權ナシトセハ上級官ハ下級官ニ對シテ命令ヲ發スルコトヲ得ス獨乙公法家ノ議論ニヨレハ此ヲ定ムルニ命令ノ形式ト事柄トノ區別ヲ以テシ命令ノ形式ハ下官カ上官ニ對シテ之ヲ審査シ違法ト認ムル上ハ之レカ服従ヲ拒絕スルコトヲ得然レトモ命令ノ事柄ニ對シテハ之ヲ審査シ又ハ執行ヲ拒絕スルコトヲ許サスト茲ニ所謂命令ノ形式トハ其最モ廣キ意味ニ於テ解釋スルヲ要スルモノニシテ上官カ其命令ヲ發スルノ手續上法律ニ違反ナル場合又ハ上官ノ職權以外ノ事柄ニ付キ命令ヲ與ヘタル場合又ハ下官ノ職權以外ノ事柄ニ付キ執行ヲ命シタル場

合等ノ如キハ凡テ形式上命令ノ違法ナルモノト認定シテ之ヲ拒絕スルヲ得ヘシ又命令ノ事柄トハ形式ニ於テ異議ヲ唱フヘキ點ナシト雖トモ命令ノ事實ニシテ法律ニ矛盾スルモノト認メタルトキハ下級行政官ハ之ニ不服ニ唱ヒ執行ヲ拒絕スルコトヲ得スシテ凡テ命令ヲ遵守セサルヘカラス此點ニ於テ一己人ノ法律ニ對スル關係ト行政官ノ法律ニ對スル關係トハ其主義ヲ異ニセルヤ知ルヘシ又下級行政官ニ對シテハ上級行政官ノ法律上ノ見解ハ確實動ス可カラサルモノタリ之ニ反シテ裁判官ハ法律ニ對シテ自己獨立ノ解釋ヲ下スヲ得ルカ故ニ行政官ト裁判官トノ法律ニ對スル地位ヲ異ニス又一己人ノ法律解釋ト行政官ノ法律解釋ト其見解ヲ異ニシタル場合ニハ行政裁判所ニ訴ヘテ行政官ト其見解ノ當否ヲ爭フコトヲ得レトモ下級ノ行政官ハ上級ノ行政官ト法律ノ解釋ヲ爭フヲ得スシテ上級行政官ノ解釋ヲ以テ確定ノモノトセリ此主義ヲ表顯センカタメ行政法ノ原理トシテ格段ナル命令ハ一般ノ命令ヲ破ルトノ確言ヲ唱道セリ一般ノ命令トハ行政官及臣民ノ共ニ守ルヘキ法律ノ規定ヲ云フ然レハ行政官ノ下ニ於テ上級行政官ノ特別事件ニ對シテ特別ノ命令ハ一般ノ法律ヨリ其効力強大ナルカ故ニ自己



ノ見解ト上官ノ見解トニ於テ法律ノ解釋ヲ異ニシタルトキハ全ク上官ノ命令ニ從フヘク唯ク命令形式上ノ違反及職權ノ有無ニ就テノミ行政部内ニ於テ異議ヲ唱フルノ道アルノミ

第十回

行政訴訟

第十四章 行政訴訟

行政監督ヲ行フニ二個ノ方法アリ即チ第一ハ前章ニ於テ説述セル上級行政官下級行政官ニ對シテ職務上行フ所ノモノニシテ第二ハ一己人カ行政處分ニ對シテ監督官廳ニ其監督權ノ作用ニヨリテ下級行政官ノ爲シタル行爲ヲ取消シ變更シ又ハ處分ヲナスコトヲ請求スルモノ是レナリ然レトモ第二ノ方法ハ一己人ノ地位ヨリ觀察ヲ下ストキハ行政官ニ對スル一ノ請願タリト雖トモ行政法全体ノ關係ヨリ之ヲ觀察スルトキハ間接ニ行政ヲ監督スル一ノ便宜法ナリ故ニ歐洲各國ノ行政法ニ於テハ之ヲ行政監督ノ執行手續ト認メタリ  
我邦ノ現行法ニヨルトキハ請願ナルモノアリ訴訟ト稱スルモノアリ或又建白ト云フモノアリ今從來ノ慣行ニヨリ之等ヲ注釋スルトキハ建白ハ一般ノ利害得失

ニ關シ立法官ニ對シテ公共ノ必要ニ隨伴スル法律命令ヲ發布シ或ハ廢止セラレ  
ノコトヲ催告スルモノナルヲ以テ行政官ニ對シテ之ヲ爲サス立法機關ニ之ヲ爲  
スヘキナリ故ニ現行ニ於テハ元老院ニ其手續ヲ爲セリ又請願ハ行政官ニ對シテ  
行政處分ヲ左右セシコトヲ請求スルモノニシテ其目的トスル所ハ一般ノ法律規  
則ニアラス特別ノ場合ニ對スルノ處分ナリ又其請願スル所ノ事項ハ國家ノ利害  
又ハ社會全体ノ利害ニツキテ之ヲナスコトヲ許サスシテ必ス請願者自己ノ直接  
利害ニ關スルモノニ付テ爲スヲ許スノミ是レ即チ現行請願規則ノ第一ニ指定ス  
ル所ナリ又請願トハ市町村制ノ明文ニヨリ又ハ徵兵令ニヨリテ爲スコトヲ得ル  
モノニシテ其目的ハ專ラ權利ヲ毀損セラレタル場合ニ行政監督權ノ作用ヲ籍リ  
下級行政官ノ處分ヲ取消スニアリ如斯三種ノ方法我邦ニ行ハル、モ帝國憲法ニ  
於テハ請願ヲ認メテ所謂建白ナルモノヲ規定セサルカ故ニ憲法實施以後ハ立法  
官ニ對シテ一般ノ法律命令ヲ發布シ或ハ變更スルコトヲ希望セントセハ請願ノ  
手續ニヨルヨリ外ニ其途ナカルヘシ  
以上説明スル所ハ我邦ノ現行法ニ於テ規定セルモノナレトモ錯綜紛々之ニ瞭乎



タル學理的ノ見解ヲ與ヘント欲スルハ抑モ難シ之ニ反シ歐洲諸國ニ於テ訴願ト稱スルハ一定ノ方式ニ依リ自己ノ權利ノ毀損又ハ利益ノ損害ヲ證明シテ行政處分ノ變更ヲ請求スルモノヲ云フ故ニ訴願ハ行政部内ニ於ケル一種ノ訴訟ノ如ク行政官ハ之ニ對シテ訴願者ノ意見ヲ聞キ又ハ訴願關係人ノ答辯ヲ納レテ而後ヲ判定ス之ヲ行政裁決ト稱シ以テ裁判所ノ判決ト區別セリ又之ヲ裁定スル者ヲ指示シテ裁判官ト稱セス裁決官ト云ヘリ而シテ又行政部内即チ國務大王ヨリ村長ニ至ル迄ノ各級行政官ヲ裁決官府ニ組織シ一方ニ於テハ行政官トシテ處分シ他方ニ於テハ之ニ對スル訴願ヲ裁決セシム故ニ町村長ノナシタル處分ニ不服ヲ抱持スルモノハ郡區長ニ裁決ヲ請ヒ郡區長ハ之ヲ裁決ス而シテ其裁決ノ効力タルヤ直接ニ町村長ノ處分ヲ變更スルノ効力ヲ有ス換言セハ監督權ノ作用ト一己人ノ請願ニ對スル判決トナ同時ニ爲スモノナリ如斯制度ハ專ラ獨逸及ヒ澳太利ニ於テ行ハル、所ナリ又佛國ニ於テハ別ニ訴願ナル名稱ヲ設ケテ此手續ヲ明ニセサルモ實際ノ必要ニヨリテ行政裁判ノ區域ヲ擴充シ當然裁判事項ニアラサルモノヲ行政裁判ノ管轄ニ歸セシメ以テ之ヲ越權ノ訴ト云ヘリ之レ即チ他邦ノ所謂

訴願ト稱スルモノナリ而シテ其佛國ニ於ケル行政裁判ハ法律カ一己人ニ對シテ一定ノ權利ヲ附與シ之ヲ保護スルノ意明白ナルニ行政官其權利ヲ毀損セルトキ換言スレハ法律上ノ權利ヲ毀損セラレタル場合ニ生シ越權ノ訴ハ行政官ノ處分ニシテ直接ニ一己人ノ權利ヲ害セスト雖トモ其職權ヲ濫用シ又ハ一己人ノ利益ヲ害スルノ處分ヲ爲シタルノ場合就中警察命令ノ區域ニ於テ行ハル、モノトス元來一己人ハ國家ニ對シテ侵犯セラレサルノ權利ヲ有スルモノニ非ラスト雖トモ行政官其職權ヲ越テ警察令ヲ發セルトキハ之ヲ監督スル上級行政官ニ訴マルヲ得ルノミナラス職權濫用ノ場合ニ於テモ此訴訟ヲ提起スルコトヲ得ヘシ職權濫用トハ法律ノ希望スル目的以外ニ於テ行政官カ命令ヲ發セル場合ヲ云フ例之佛國鐵道停車場ニ於テ馬車停置ノ制限ヲ附スルハ其地行政官ノ職權内ニアリトノ法律アルニ某停車場ノ地ニ於ケル村長ハ或ル馬車會社ニ停車ヲ許シ他ノ馬車會社ニ對シテハ之ヲ許サ、リシヲ以テ他ノ馬車會社ハ越權ノ訴訟ヲ提起シ監督官ノ裁決ヲ求メタリ然ルニ村長ハ自己ノ處分ノ正當ナル所以ヲ辯シテ法律上此等ノ制限ヲ附スルノ職權ヲ有スルモノナリト監督官ハ之ニ裁決ヲ與テ曰ク法律



カ此職權ヲ許容セシ目的ハ停車場ノ秩序ヲ保持スル爲メニシテ營業上ニ制限ヲ附スルモノニアラス然ルニ村長ノ行爲ハ法律ノ目的外ニ馳出セル處分ナルカ故ニ職權濫用ナリトスト此等ハ皆ナ監督權ヲ充分ニ擴充スルノ目的ニ出テタルモノナリ

英國ニ於テハ訴願ナル名目ハ行政法内ニ之レ有ラスト雖トモ地方官即チ治安裁判官ハ其發シタル警察命令ニ對シテ純然タル訴訟手續ヲ具フル中央裁判所ノ判決ヲ受ケ其他ノ事項ニ對シテハ凡テ「ペテシヨ」ニ所謂訴願ト太々類スルモノナリノ訴ヲ受クルモノトス「ペテシヨ」ニハ權利ニ關スルモノト否ラサルモノト之アリ權利ニ關スル「ペテシヨ」(訴願トハ例ニハ撰擧事項ニ關シ撰擧ノ當不當其方法ノ合法不合法如何ヲ訴ヘ上級裁判官ノ裁決ヲ求メ或ハ裁判所ニ訴フルモノト云ヘ其他ノ訴願ニ至リテハ一己人ノ利害得失又ハ一地方ノ事柄ニ基ク行政官ノ所分ヲ變更セシコトヲ國會ニ請求スルモノナルカ故ニ他邦ニ於テ行政官ヲ監督スルノ職分トスルモノヲ英國ハ國會ノ職分トナセリ故ニ英國ノ臣民ハ行政官ニ不當ノ所分アルトキハ國會ニ訴願ヲ提出シ國會ニハ又訴願ヲ受理スルノ委員ア

國權ト一  
個人ノ關係

リテ之ヲ審査シ其結果ヲ行政官ニ報告シ適當ノ所分ヲ請求スルコトアリ或ハ國會ニ於テ自ラ必要ナリトスルトキハ訴願ノ趣意ヲ直ニ法律案ニ作爲シ國會ノ議決ニ附スルアリ而シテ英國ノ議案中ニハ法律私案ナルモラアリコハ國會又ハ政府ヨリノ提出案ニアラス一己人又ハ一地方ヨリ國會ニ訴願シ國會ニ於テ法律案ヲ作爲シ以テ議決ヲ爲スモノヲ云フ故ニ事實上英國ノ國會ハ訴願ヲ受理スルノ權限ニヨリ以テ行爲處分ヲ監督スルモノトス

第十一回

第十五章 國權ト一個人ノ關係

前章ニ於テ行政監督ノコトヲ述ヘ而シテ監督ノ一作用トシテ行政官カ一個人ニ對スル違約所分ヲ裁判所ニ訴ヘ又ハ行政官廳ニ訴願スルヲ得ルコトヲ說述セリ其出訴ヲ許シ訴願ヲ允許スル事柄ハ直接ニハ行政監督ノ作用トナリ間接ニハ國權ノ一個人ニ對スル關係トナルモノナルカ故ニ茲ニ其大畧ヲ述ヘン

一個人ノ主權ニ對スル關係ハ已ニ說述スルカ如ク服從ノ關係即チ一方ハ命令者一方ハ服從者ニシテ其間ノ關係ハ法律家ノ所謂權力相關ナリトス權力相關トハ



強者ノ弱者ニ對スル關係即チ一方ハ自由ニ一方ノ行爲ヲ制限シ其自由ヲ緊束スルヲ得ルモノヲ云フ故ニ平等ノ人類間ニハ決シテ行ハル、モノニアラサルナリ、仍ホ他言スレハ平等ノ人類間ニ行ハル、權利義務ノ外ニ國權ト一個人トノ間ニ命令服從ノ關係ヲ惹起スルモノトス而シテ公法ハ此關係ヲ説明スルヲ以テ其目的トセリ

然ルニ或學者ハ此關係ヲ以テ一個人平等ノ關係ト同一視シ國家ト一個人ノ間ニ於テモ仍ホ權利義務ヲ以テ其連絡ヲ説明シ去ラントスルモノアリ又法律成文法ニ於テモ往々國家ノ權利、臣民ノ權利ナルモノヲ認ムルモ茲ニ所謂權利義務ハ民法上ノ權利義務ト同一ナルモノニアラス即チ公法上ノ權利ヲ有スルモノハ行政訴訟ヲ起シ又ハ訴訟ヲナスヲ得ルモノニシテ複言スレハ法律ノ認メタル自由ト云ヘク從テ法律ハ何時ニテモ之ヲ剝奪スルコトヲ得ヘシ何トナレハ國家ニ對シテ既得權ナルモノハ成立スルモノニアラサレハナリ然レトモ近來憲法政治ニ於テ臣民ノ權利義務ヲ認ムルカ故ニ民法上ノ所謂權利義務ト異ナル所以ノ概畧ヲ説明セムントス

公法上ノ權利ヲ分テ二トス曰ク民權曰ク政權是ナリ民權トハ國家ノ公民タル資格即チ其身分ニ隨伴スル公法上ノ權利ヲ指示スルモノニシテ政權トハ政治機關ノ組織又ハ其政務ニ參與スルノ權利ヲ指示スルモノナリ而シテ民權ノ著例トシテハ所有權ヲ侵犯セラレサルコト、法律ニ由ルノ外自由ヲ制限セラレサルコト、言論ノ自由、集會ノ自由、宗教信仰ノ自由等ノ如シ是等ハ專ラ行政法ノ規定ニヨリテ各人ノ享有スル自由ニ過キサレハ之ヲ法律上權利ト稱スルハ抑モ允ラサル見解ナリト雖モ法文上之ヲ權利ト認ムルカ故ニ權利ト見做シ若シ行政官ノ處分ニシテ此等ノ權利ヲ毀損セルトキハ行政監督官ニ訴出シテ一個人ハ之レカ救済ヲ求ムルコトヲ得ヘシ政權ハ國會及自治休等ノ機關ノ撰舉被撰舉ニ參與スルノ權又ハ行政裁判ヲ受クルノ權、訴訟スルノ權等ノ如キ法律カ一個人ニ對シテ特別ニ附與セル權利ヲ云ヒ國民タルカ故ニ從テ之ヲ有スルモノヲ云フニアラサルナリ彼ノ國民藉ハ政權ヲ享有スル一ノ標準ナリト雖モ政權ヲ以テ直ニ國民權ト同一ナリト云フヲ得サルナリ所謂民主國ニシテ普通撰舉ノ原則ヲ守ル國ニ於テハ參政權ハ民權ト均シク國民藉ニ伴隨スル權ニシテ一般人皆之ヲ享有スルモノナレ



トモ立憲國ニアリテハ法律上特別ニ附與セルモノニ限リテ享有スルモノナリ而シテ此權利ニ關スル爭訟ハ明文ノ規定ニヨリ行政裁判訴訟ノ手續ニヨリ行政裁判官ニ訴フルコトヲ得

國民ノ主權ニ對スル地位ハ權利ノ關係唯々其小部分ヲ占ムルノミニシテ所謂義務ノ關係ニ屬スルモノ最モ多シトナス何トナレハ凡テ法律ハ強迫的ニ一個人ノ自由ニ干涉スルモノナルカ故ニ其規定ハ一個人ニ對シテ凡テ一定ノ義務ヲ惹起シ其所謂義務ハ民法上ノ義務ト異ナリ凡テ服從ト了解スヘキナリ其服從義務ニツキ法律ハ行政官ト一個人間ニ一定ノ標準ヲ規定シテ行政官ハ一個人ニ對シテ服從ノ命令ヲナス故ニ一個人ノ國家ニ對スル關係ハ法律ノ定メタル程度以內ニ於テ行政官カ服從ヲ命スル時ニ當リ始テ法律上ノ關係ヲ惹起シ其以外ノ事項ニ涉ルトキハ行政官ハ主權ノ代表者タル資格ヲ失却シ一個人ノ資格ヲ以テ其責任セサルヲ得ス以是行政官ノ不當越權ノ處分ハ刑法ニ問擬スヘキナリ元來刑法ハ一個人ニ對スル國家ノ命令タルニ拘ラス其効果ヲ行政官ノ行爲ニ及ス所以ノモノハ行政官違法ノ行爲ハ一私人ノ行爲ニシテ國家ノ行爲ニアラサルヲ證スル

モノナリ故ニ義務ノ爭訟ハ或ハ司法裁判所ニ或ハ行政裁判所ニ出訴スヘク殊ニ租税ノ負担ハ行政裁判ノ區域ニ屬スルモノトス

義務ハ權利ノ如ク之ヲ類別シテ其重ナル者ヲ指示スルコトヲ得ス然レトモ憲法上ニ於テ指示セル如ク租税ヲ拂フ義務兵役ノ義務又ハ自治体ノ名譽職ヲ奉シ或ハ裁判所ニ證人トナルカ如キ最モ其著シキ者トス而シテ法律ハ新ニ義務ヲ指定スルニアラス義務ノ程度ヲ定ムル者ナリ夫ノ法律ニ由ルニアラサレハ臣民ニ服從ノ義務ナシトハ法律ナキ時ハ行政官ノ處分ニ對シテ服スルノ義務ナキヲ云フ者ニシテ其服從義務ハ法律ノ有無ニヨラス國家ノ成立ト共ニ存シ臣民ト云ヘハ已ニ服從者ヲ意味スル者ナリ換言スレハ國家ノ成立ハ無制限ナル主權ノ下ニ完全ナル服從義務ヲ負擔スルモノアルヨリ成立スルモノト云フヘシ已ニ臣民ニ服從義務アルヲ以テ主權ハ法律及命令ヲ發シ之ニ格段ナル形式ヲ附シテ一定ノ程度ヲ定ムルコトヲ得是レ義務ノ本体ハ法律ヲ俟タスシテ存スルモ義務ノ種類程度ハ法律ヲ俟テ存スルモノナレハナリ而シテ訴訟願シ得ルモノハ義務ノ種類程度ニシテ國家ニ對シテ義務ナシト主張スルモノニ非ス約言スレハ法律ノ要スル所



ハ此點ニ存シテ彼點ニ及ハスト云フヲ證明スルモノナリ  
以上述ヘタル所ハ專ラ一個人ノ自由及服從義務ニ關スルモノナレトモ唯ダ單リ  
一個人ニ止マラス尙ホ之ヲ一個人ノ集合體ニモ及スコトヲ得ヘシ國法上法人ト  
認メラレタルモノハ、國家ニ對スル關係ハ猶ホ一個人ト同一ノモノダリ其團體ノ  
重ナルモノヲ舉クレハ地方組合體商業ノ團體或ハ宗教ノ團體ニシテ如此法人ハ  
行政法上權利義務ノ主体ト認メラル、モノナリ

第十二回

第十六章 邦國ト邦國トノ關係

國法學トハ元ト國內ノ法律ヲ說明シ政權ノ組織及ヒ國家ト一個人トノ關係ヲ說  
明スルヲ目的トナスモノナリ然レトモ國家ノ行爲ハ管ニ一個人ニ對スルノミナ  
ラス外國ニ對シテ法律上有効ナル行爲ヲナスヲ得ルモノトス之ヲ普通ノ見解ニ  
依ルトキハ國際法ト名ケ國法以外ノ別種ノモノトナス其理由ヲ釋スレハ邦國ト  
邦國トノ關係ハ國法ニ依ラスシテ萬國普通ノ法ニ支配セラル、モノナリ何トナ  
レハ一國主權ノ發布セル法律ハ其國內ニハミ効力ヲ有シ邦國ト邦國トノ關係ヲ

支配スルモノニアラス以是國際法ハ國法ノ外ニ一種ノ科目ヲナス又國際法ヲ別  
テ公法及ヒ私法トナシ邦國ト邦國トノ關係邦國ト外國一個人トノ關係及ヒ一國  
ノ臣民ト他國ノ臣民トノ間ノコトヲ定ムルモノトセリ  
以上ノコトハ學科攻究上之レカ區別ヲナスノ必要アルヘキモ嚴格ニ法律ヲ論ズ  
レハ國際ノ公法私法ニ論ナク凡テ其國ノ法律ナリ唯ダ局外ノ地ヨリ萬國ヲ平等  
ニ見認ルトキハ國際法タリ英國國際法學者フイルモア氏ノ說ニモ國際法ハ英  
國普通法ノ一部ナリトシ填國スタイン氏ノ著書ニハ國際行政ノ科目ヲ設ケ國家  
行政ノ一部トシテ說明セリ何トナレハ一國カ他國ニ對スル行爲ハ一定ノ規則ヲ  
遵守シテ之レヲ執行スルハ其國ノ法律ニ於テ其規定ニ從フヘキコトヲ命スルカ  
故ナリ殊ニ國內ニ於テ外國人ト外國人トノ間又ハ內國人ト外國人トノ間ニ生ス  
ル關係ヲ國法ニ依ラスシテ國際法ニヨリ所分スルハ法理ノ許サ、ル所ナリ故ニ  
一國ヲ主トシテ論スルトキハ國際公法ハ國ノ外交行政ニ屬シ國際私法ハ其國ノ  
私法ノ一部分タレハ國法學ノ一章トシテハ國際公法ノ規定ヲモ含ムヘキモノト  
ス



一國他國ニ對シテ法律上有効ノ行爲ヲナスハ尙ホ各個人ノ間ニ行ハル、行爲ヲ如ク法律ヲ命令スルコトアラズ又所分ヲナスニモアラズシテ權利行爲ヲ組成スルモノナリ權利行爲トハ法規ヲ作爲スルニアラズシテ法律規則ニヨリテ其當事者間ニ權利又ハ義務ヲ創生シ或ハ消滅シ或ハ變更スル者ニシテ合意ニヨリテ生スルカ又ハ一方ノ意志ニヨリ生スルカ二者其一ナラサルヘカラス如此論スレハ實際ト稱スル別種ノ法理アルニアラス凡テ公法ノ法理ヲ以テ説明スヘキナリ例ヘハ外國ト取結フ條約ハ合意ニヨリ邦國ト邦國トノ間ニ公法上ノ權利又ハ義務ヲ生スルモノナリ又一國ノ土地ヲ外國ニ贈與スルコトノ如キハ合意ニアラズシテ一國ノ行爲ヲ以テ權利義務ヲ生スルモノナリ而シテ其條約ヲ締結シ又ハ贈與其他ノ事柄ヲ行フ權力及其結果ハ別ニ國際法ノ規定ヲ俟タズシテ其國ノ法ニヨリ定マルモノトス夫ノ條約ヲ締結スル權ハ君主ニアリ(我國ニテハ)トスルトキハ實際上條約ノ成立ハ君主ノ締結ニヨリテ完全スルカ如シ而シテ條約ノ範圍條項ハ憲法又ハ國法ニヨリ定メラル、モノニシテ別ニ條約ニ對シテ特別ノ國際法理ヲ主張スルコトヲ要セサルナリ

國際法ヲ國法ノ一部分トシテ攻究ストキハ凡テ如此論スルヲ得ヘキナリサレトモ唯又其事柄繁雜ナルカ爲ニ之ヲ講習スルノ便宜上ヨリ仮リニ國際法ト名ケタルニ止ルヲ以テ其法理ハ國法ニヨリ解釋セサル可カラス就中條約ノ効力ニ關シテハ國法ヲ以テ論スヘキモノナリ茲ニ生スル第一ノ疑問ハ條約ハ法律ナルヤ又ハ否ラサルヤノコト之レナリ換言セバ條約ノ効力ハ法律ヲ變更スルニ足ルモノナルヤ否ヤノコト是レナリ從來此問題ヲ說クニ各自國ノ憲法ニヨリ解釋スルコトヲナサズ漠然國際法ノ法理ニ求メタリシカ故ニ其論決ハ曖昧ナリシモ國際法ヲ國法ノ一部トセバ條約ノ効力ヲ解スル甚ダ單簡ナリ即チ憲法上法律ト認メサル國ニ於テハ法律ニアラサルモ法律ト認ル國ニ於テハ法律ト云フ可シ故ニ條約ハ普通一般ノ論決ヲナスコトヲ得サルヤ明シ矣我國法ニヨレバ條約ヲ締結スルノ能力ハ君主ニアリ又條約ノ條項ハ法律ヲ變更セストノコトハ我國法ナリトスレ獨逸學者ノ所謂國際行政トハ條約ヲ執行スル手續ヲ指スモノニシテ條約ノ明文ニヨリ或ハ習慣ニヨリ邦國ト邦國トノ間ニ生スル事件ヲ處分スルヲ云ヒ而シテ其機關ハ外務大臣、公使及領事ノ如キ純然タル國家ノ官吏ナリ又依テ以テ執行ス



此コトハ皆ナ其國ノ法律ヨリ命令出スル、所ナリ然ルニ或學說ニ於テ公使又  
 ハ領事ハ國際法ヲ執行或ハ國際行政ヲ司スル國際機關ト見做スモノア  
 ルモ是レ太ク誤レルモノナリ故ニ國際行政ハ一ニ外守行政ト云フモ同シク其國  
 ノ行政法ノ一部タリ  
 臣民各自間ノ關係及ヒ外國在留ノ我國臣民ノ法律上ノ關係ノ如キハ所謂國際私  
 法ヲ以テ支配セラルヘキモノニシテ義キニ說明セル如ク外國ノ法律ハ外國ニ行  
 ハレ國內ノ事項ハ國法ヨリ處分スヘキ原則トス  
 或ハ治罪法權ノ如キ此例外ノ如ク說クモノアレトモ治罪法權ハ即チ國內ノ法律  
 ナレハ之ヲ認定スル邦國ニ於テノミ行ルモノニシテ之ヲ認定セサル邦國ニ治  
 外法權ヲ行ハシカ是レ其國ノ獨立ヲ承認セサルモノナリ是レ其土地ヲ以テ我領  
 地トナスモノナリ安シ如此コトアラシヤ故ニ治外法權此原則ノ例外チナスモ  
 ノニ非ラスシテ一定ノ原根底スルモノトス

國 法 學 完 結



